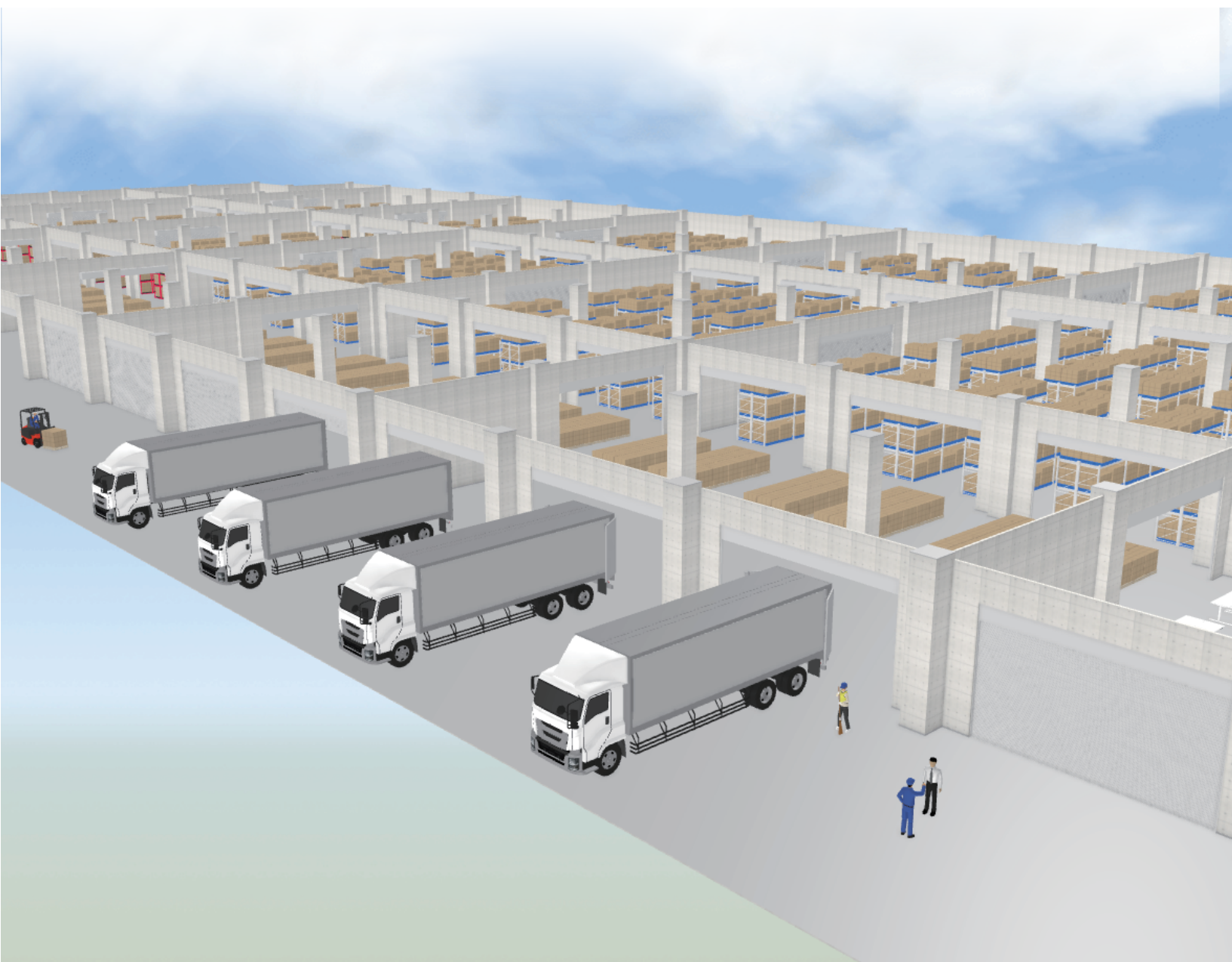


物流倉庫3D

基本操作マニュアル <Vol.2>



<物流倉庫3Dとは>

倉庫の図面を読み込み、荷主からの依頼に合わせて物流倉庫の

レイアウトプランを作成できる営業支援ソフトです。

配置された設備機器はエリア毎に面積や数量を集計可能。見積書の作成にも

お役立ていただけます。

また、平面図で入力した倉庫や配置した機器や人物は3Dに立体化して

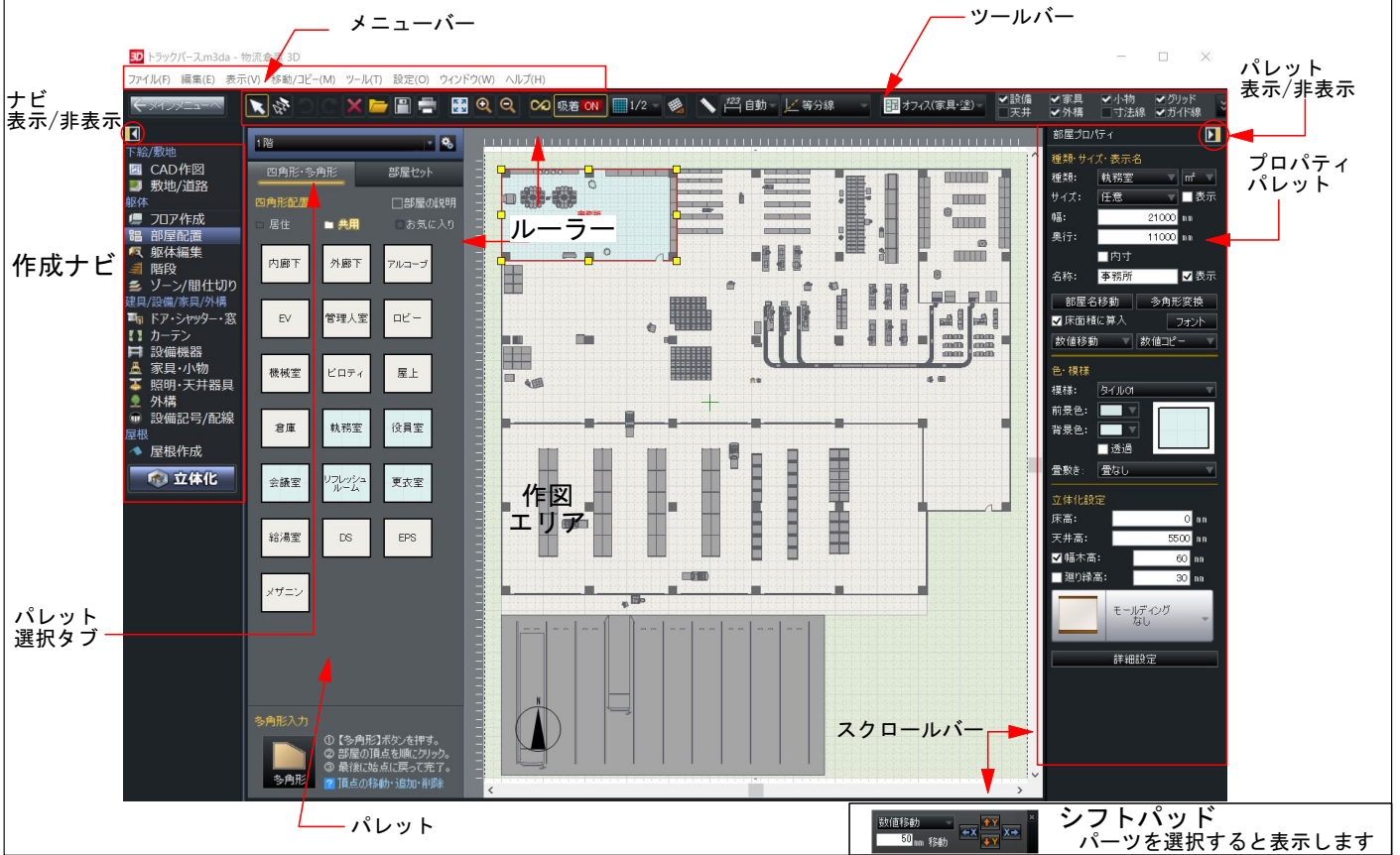
作業工程のイメージやウォークスルー動画として出力することで強力なプレゼンツールと

してご利用いただけます。

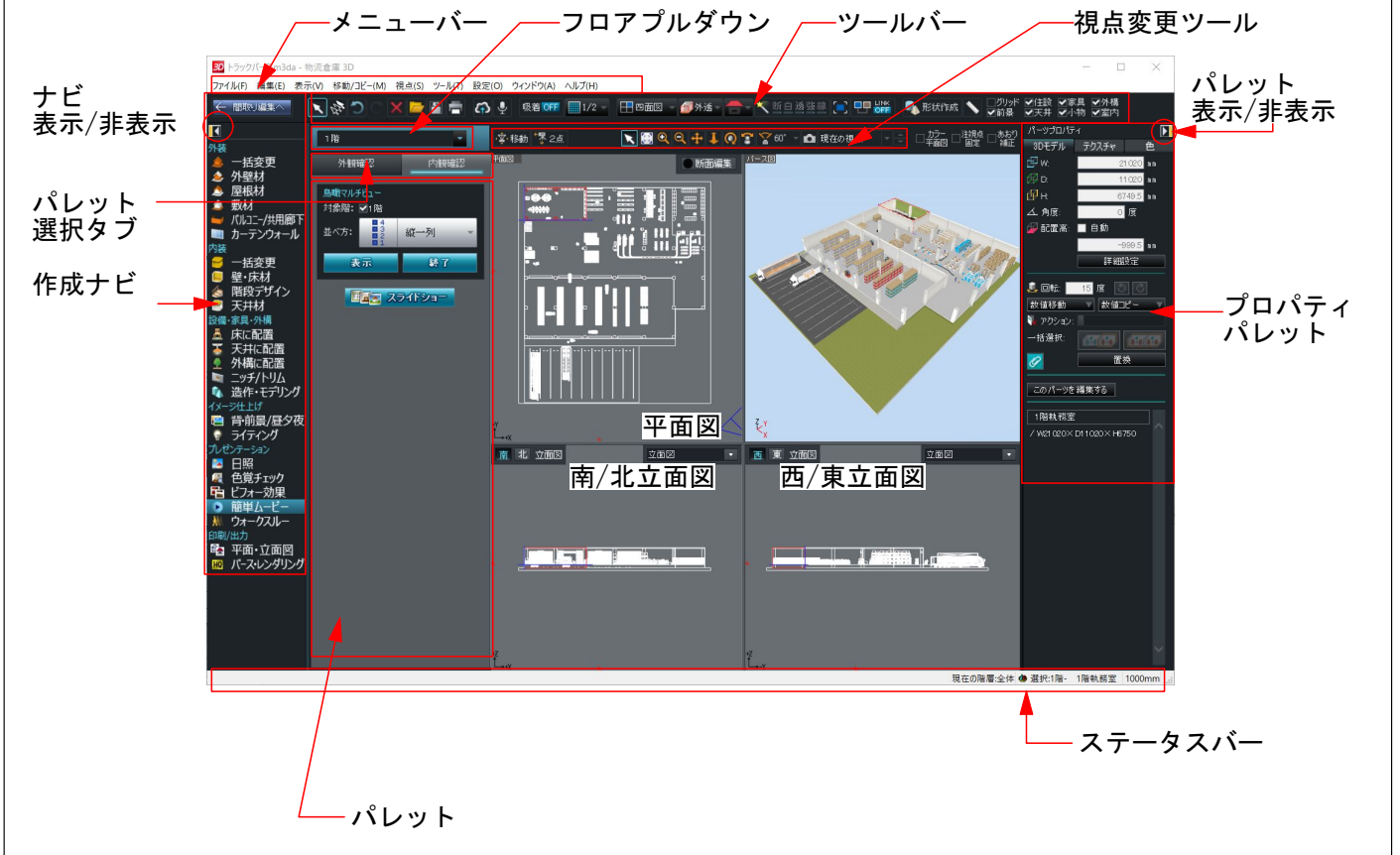
～ 目次 ～

01. 物流倉庫 3D インターフェース	01
02. 「間取画面」での操作の流れ	02
03. 天井高設定	04
04. データの読み込み (PDF・CADデータの読み込みと編集活用方法)	05
05. 部屋配置	10
06. 躯体編集 (柱の配置と配列コピー)	11
07. 躯体編集 (壁を追加する一連続入力)	13
08. ドア・シャッター・窓	14
09. 設備機器の配置	16
10. ゾーン分けと集計	22
11. その他の設備機器の代用	24
12. 家具配置のパーツ	25
13. 複数フロアの作成方法	26
14. 立体化	33
15. 視点設定	35
16. 視点登録	37
17. トラックバースの作成方法	38
18. 屋根作成	43
19. 造作・モデリング (ロゴ/文字シールの作成)	46
20. 内装材の変更	47
21. ウォークスルー	49
22. スマートフォンで見る	51
23. 360° パノラマ	52
24. より効率アップ	53

■ 間取り画面-各部名称



■ 3D画面-各部名称



■ メインメニュー -各部名称

物流倉庫3Dを起動すると
メインメニューが開きます

- ①新規プランを作成：間取り画面から新規に作成します
- ②サンプルを開く：「間取り」と「3D」それぞれのサンプルファイルを開きます
- ③ファイルを開く：作成したファイルを開きます
- ④3Dモデリング：3D画面が起動し、パーツの作成ができます
- ⑤履歴：前回開いたファイルを開けます



起動アイコン



Step 01 基本単位の設定

「メインメニュー」の「新規プランを作成」を選択します

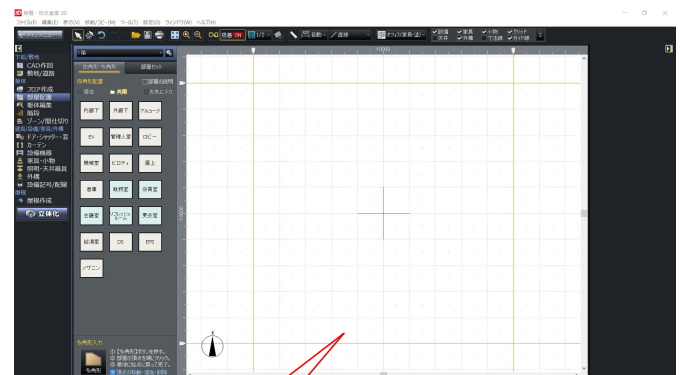
「新規作成」で設計の基本となる寸法の単位（モジュール）を選択し、「完了」ボタンをクリックします



Step 02 間取り画面の表示

間取り画面が表示されます

作図エリアには設定したモジュール（ここでは1000mm）の間隔でグリッドが表示されます



Step 03 グリッドの表示・非表示

画面上のグリッドは、ツールバーの「グリッド表示」で、表示/非表示を切り替えることができます

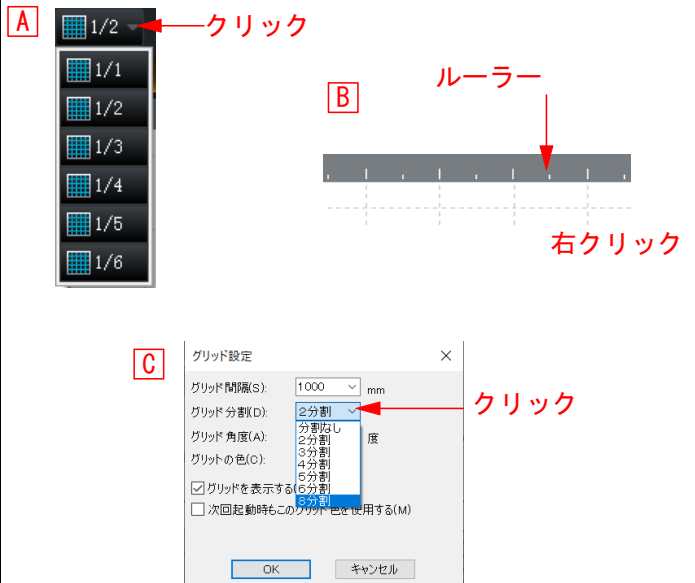


Step 04 グリッド分割

グリッドを分割して、配置する図形の吸着するポイントを変更することができます
設定は以下の方法があります

- A: ツールバーの「グリッド分割」から分割数を選択
B: ルーラーの上で右クリック
C: 「設定」メニューから「グリッド設定」を選択し、「グリッド設定」ダイアログのグリッド分割数を選択（ダイアログでは「分割数なし」「8分割」を選択することができます）

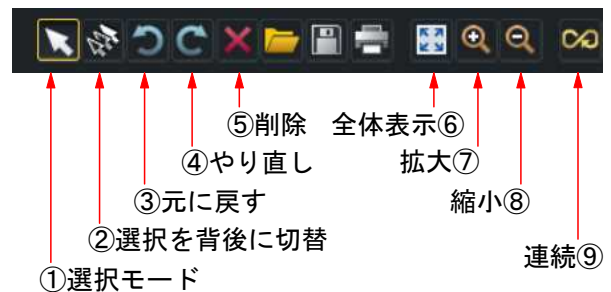
ここでは、2分割に設定します



Step 05 ツールバーの各部名称

メニューの項目から、よく使う機能がツールバーにボタンで表示されています

- ① 選択モード：部屋や建具などのオブジェクトを選択します
- ② 選択を背後に切替：クリックした位置に複数のオブジェクトがある場合、選択図形を順番に切替えます
- ③ 元に戻す：直前に行なった操作を取り消し、元に戻します
- ④ やり直し：「元に戻す」で取り消した操作を再実行します
- ⑤ 削除：選択されている部屋や建具などのオブジェクトを削除します



⑥ 全体表示：作成している間取りの全体が作図エリア内に収まるように表示します

⑦ 拡大：マウスクリックした位置を中心に拡大します

⑧ 縮小：マウスクリックした位置を中心に縮小します

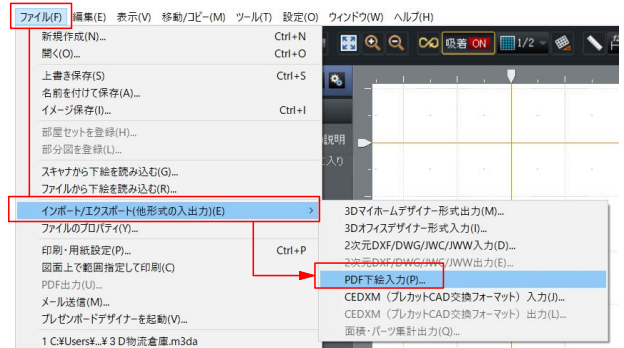
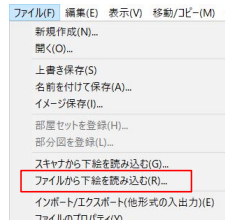
※画面の拡大縮小はマウスホイールでも行なえます

Step 01 PDFデータを読み込み

①ファイルメニューの「インポート/エクスポート」から「PDF下絵入力」を選択します

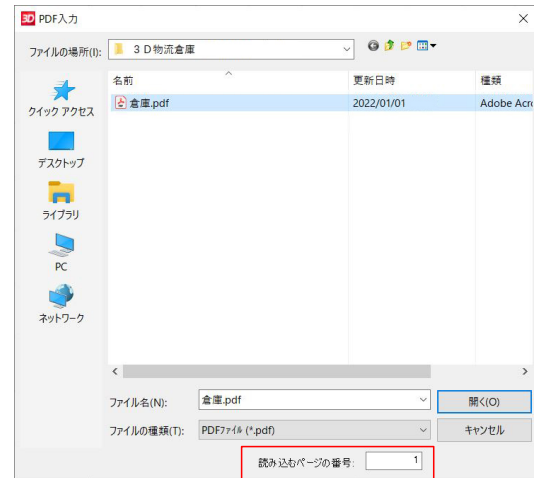
【画像データの場合】

「ファイル」メニューから「ファイルから下絵を読み込む」



Step 02 ページを指定してPDFファイルを開く

PDFファイルを選択し、ダイアログボックス下部にある「読み込みページの番号」を入力しOKをクリックします



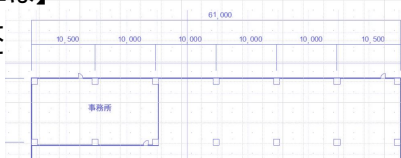
複数ページの場合は指定します

Step 03 読み込まれたPDFデータ

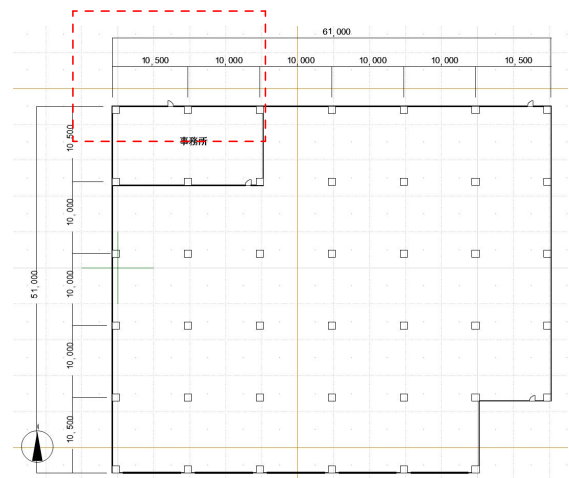
読み込まれたPDFデータは、寸法や位置などが正しくありません。次はその調整を行います
予め拡大ツール で右図の点線部分を拡大しておきます

【縮尺の誤差を減らすには】

取り込まれたデータは薄紫色になっています
寸法の補正は横幅の全体部分を基準に補正します



この付近を拡大する

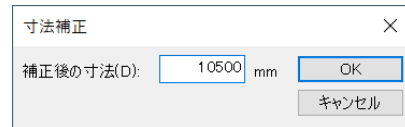
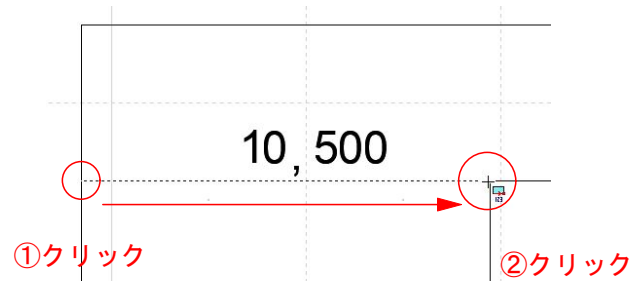
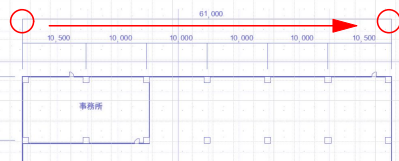


Step 04 寸法補正

寸法を補正したい場所をそれぞれクリックし、ダイアログボックスが表示したら数値を入力してOKをクリックします

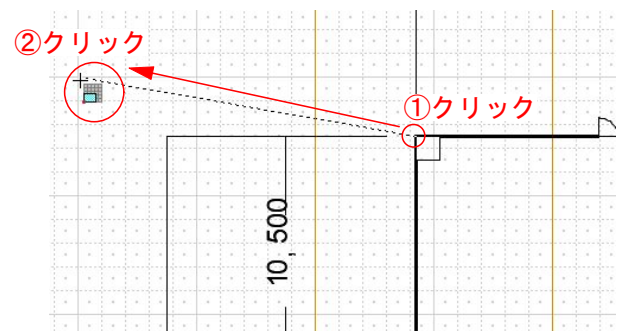
【縮尺の誤差を減らすには】

画像データの寸法は倉庫の両端(61,000mm)を合わせて寸法調整すると誤差が少なくなります



Step 05 位置補正

次は位置補正をします柱と壁の中心辺りでクリックし、マウスをグリッドに近づけクリックします位置補正は必ずクリックした一番近くにあるグリッドに吸着します



補足 傾き補正

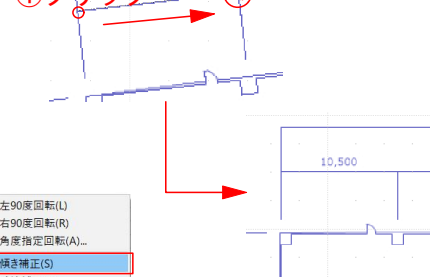
元画像が傾いていたなら「傾き補正」をします画像を水平にしたい方向を指示します

「ツール」メニューから「下絵」の「傾き補正」を選択し、画像を水平にしたい方向を指示します

ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

- メジャーモード(M)
- 角度測定(K)
- 敷地・道路入力(S) >
- フロア作成(F)
- 部屋・壁・柱・梁・階段入力(R) >
- ドア・窓・カーテン入力(O) >
- 家具・住宅設備配置(U) >
- 屋根作成(Y) >
- 線・文字・付箋・寸法線入力(L) >
- 線分編集(E) >
- 図面枠(D) >
- 画像配置(I)...
- オブジェクト一覧・検索(O)...
- 座標値チェック(A)...
- パーツ作成ウィザード(W) >
- 作表(H) >
- パレットパーツ編集(P) >
- 下絵(B) >
- SDKスクリプトを実行(K)...

①クリック, 500 ②クリック

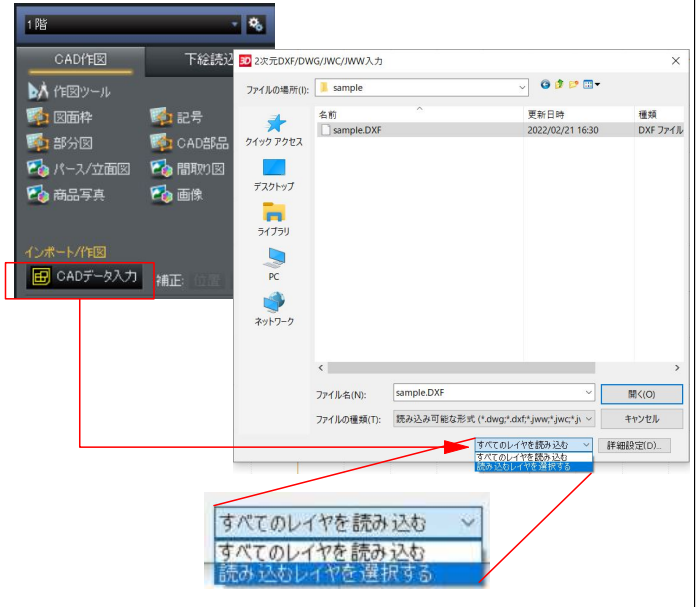


- 左90度回転(L)
- 右90度回転(R)
- 角度指定回転(A)...
- 傾き補正(S)
- 寸法補正(C)
- 位置補正(P)
- 消去(D)

Step 01 CADデータの読み込み

CADデータ（DXF/DWG/JWW/JWC）を読み込むことができます

- ①ナビの「CAD作図」を選択します
- ②パレットの「インポート/作図」から「CADデータ入力」ボタンをクリックします
CADデータには業務に不要な情報も入っている場合が多いので、レイヤを指定して取り込むこともできます
- ③「読み込むレイヤを選択する」を選択し、ファイルを「開く」ボタンをクリックします



Step 02 レイヤ選択

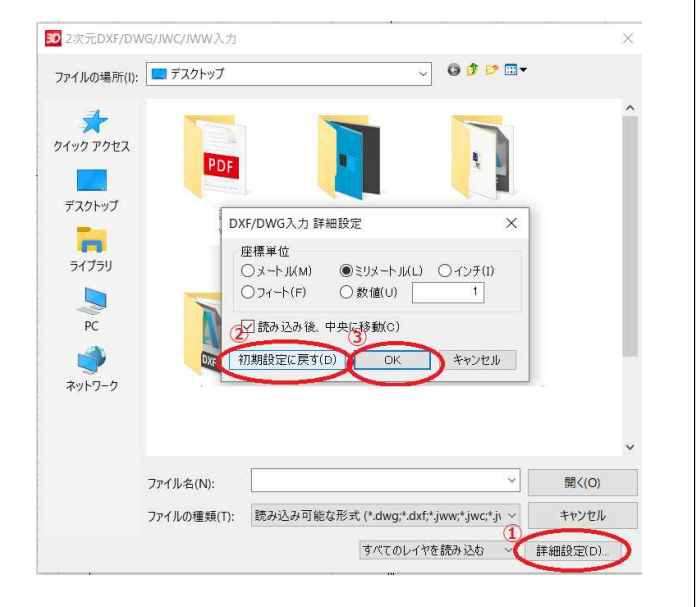
- ①「すべての選択を解除」ボタンをクリック
- ②改めて業務に必要なレイヤにチェックを入れます

取り込んだ後も表示のON/OFFは可能ですが、右図のように大量なレイヤの構成でCAD図が出来ている場合は、ある程度必要なものを判断して取り込むことをお勧めします



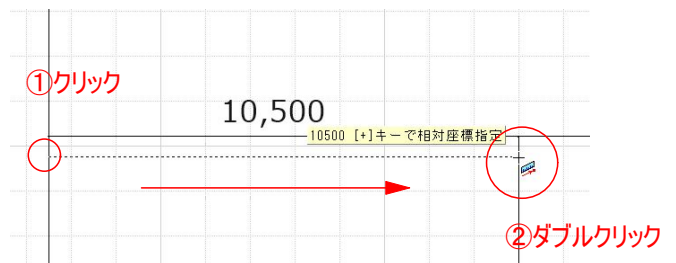
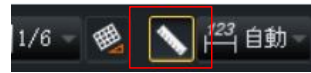
補足 読み込んだ図面が正しく表示されない場合

1. 物流倉庫 3D を再起動
2. 「CADデータ入力」からファイル選択時に
 - ①「詳細設定」ボタンをクリック
 - ②「初期設定に戻す」
 - ③OKをクリックしてからファイルの読み込みを試してみてください



Step 04 メジャー機能で寸法確認

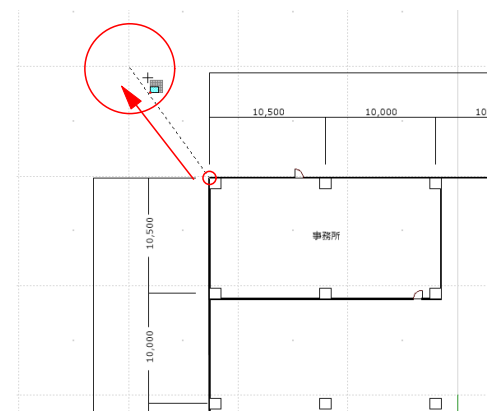
寸法表示している場所を探し、寸法を確認したい場所からクリックし、終えたい箇所でダブルクリックすると測定結果ダイアログが表示します
確認のみで文字表示が不要な場合は「キャンセル」をクリックします



Step 05 位置補正でグリッド合わせ

次は位置補正をします壁の交差する中心でクリックし、マウスをグリッドに近づけクリックします
位置補正は必ずクリックした一番近くにあるグリッドに吸着します

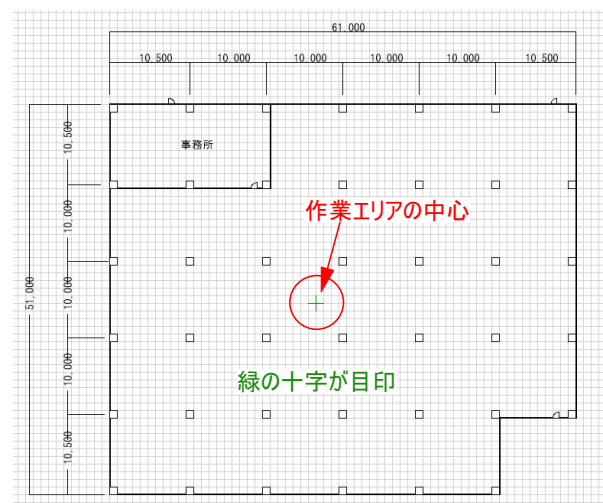
位置補正は一回でうまくいかなかったら何度か繰り返して調整しましょう



Step 06 CADデータの読み込みの完了

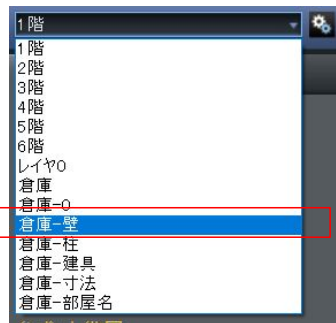
CADデータの取込み後の作業は以上になります

位置補正の際は、画面中心部分が間取りの中心あたりに合わせるとよいでしょう



Step 01 線分から壁と床を生成する

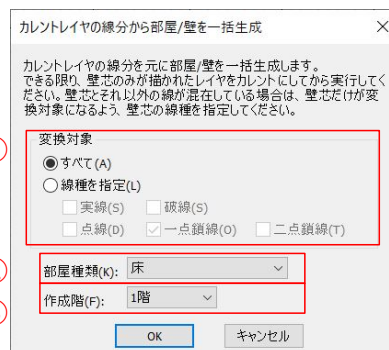
取り込んだCADデータのレイヤ内にある線分から壁や床を一括生成できる機能です
線分（躯体等）のレイヤに切替えます



▶線分（躯体）があるレイヤに切替える

Step 02 一括生成を実行

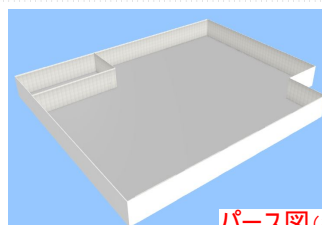
ダイアログに表記があるように、できる限り「壁芯」のみが描かれたレイヤをカレントにしてから実行します
混在している場合は、壁芯だけが変換対象になるよう、壁芯の線種を指定します



①変換対象と、②変換後の部屋種類と、③生成したい階を選ぶ

Step 03 生成された結果

壁と床が生成されました





パース図（後述の操作を参考にしてください）

Step 01 事務所スペースの配置

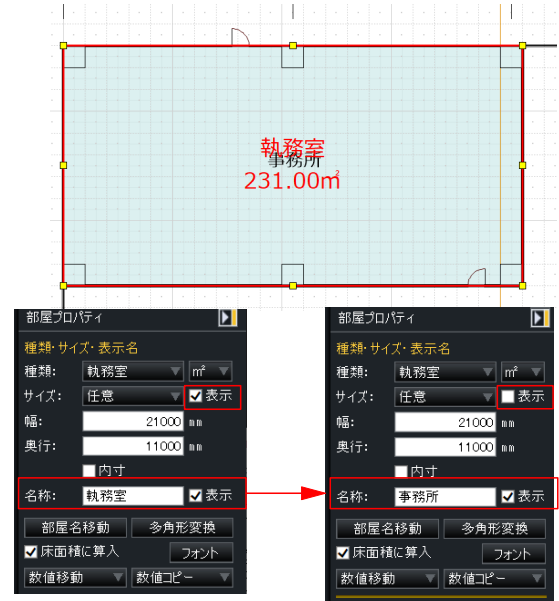
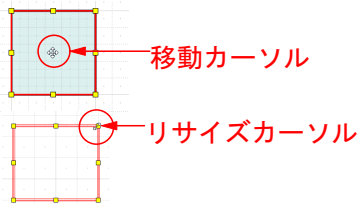
ナビの「部屋配置」から「執務室」を選択し、
下絵の事務所に合わせて配置します



Step 02 マウスでサイズの変更と名称と面積表示

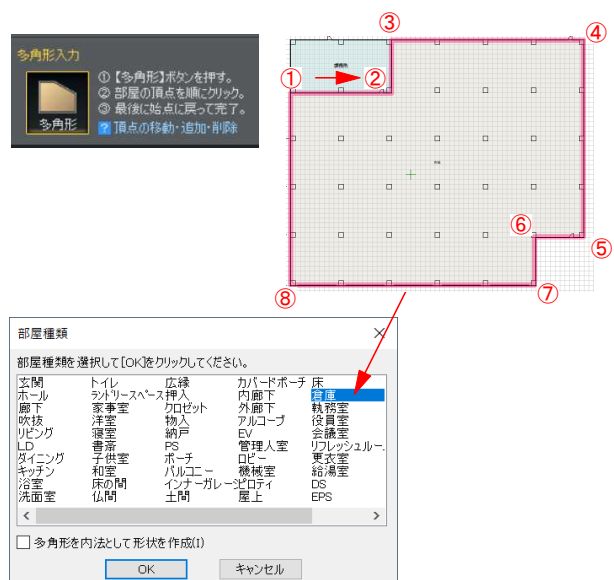
下絵を参考にマウスでサイズを変更します
カーソルには移動カーソル  と部屋のサイズを変更するリサイズカーソル  があります

部屋プロパティの「名称」を変更します
面積の表記の表示・非表示はチェックを外します



Step 03 部屋の入力（多角形入力）

矩形で収まらない部屋の形状は「多角形入力」ボタンをクリックし、各頂点をクリックしながらトレースします最後の⑧をクリックしたら、右クリックをすると自動的に作図が終了し「部屋種類」ダイアログボックスが表示します「倉庫」を選択しOKをクリックします



Step 01 躯体編集ナビの選択

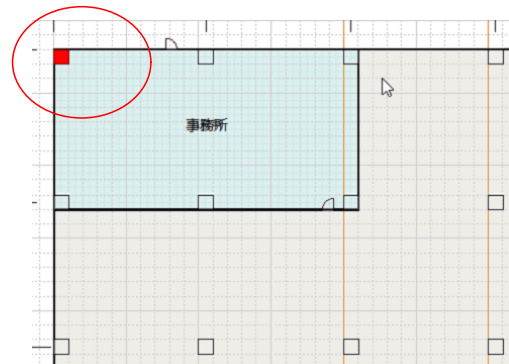
ナビの「躯体編集」から「四角柱」を選択します
これから、CAD図を参考に柱を配置していきます



Step 02 柱の配置

事務所スペースの左上に柱を配置します
柱の大きさは「1000」mmです

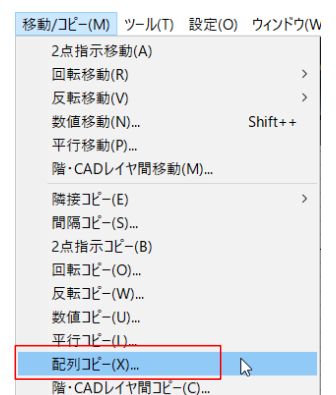
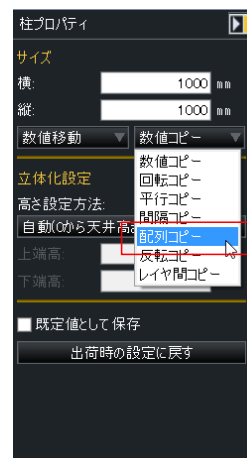
プロパティから数値を変更して、CAD図を参考に配置します



Step 03 配列コピー

作業効率UP!

配置した柱を「柱プロパティ」の「配列コピー」または、「移動/コピー」メニューの「配列コピー」で全体に一度にコピーを取ります

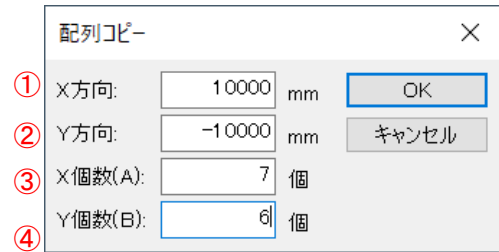


プロパティ

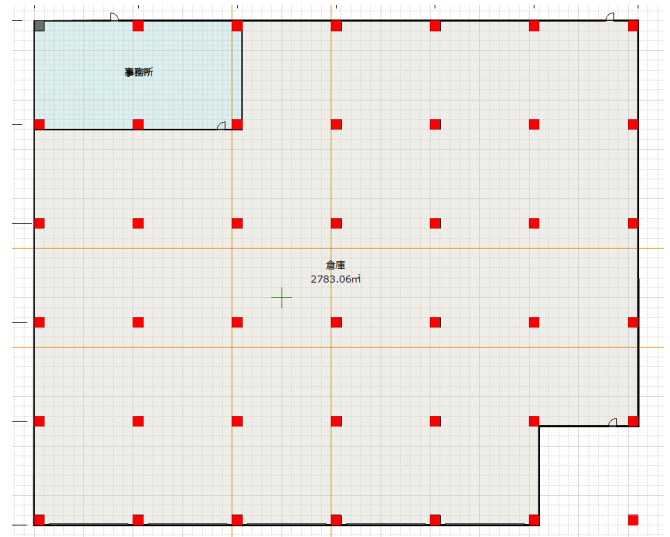
メニュー

Step 07 配列コピーの方向と個数

- ① X方向は、左右を示します今回は「右方向」に「10000」mmの移動でコピーをとります
- ② Y方向は、上下を示します今回は「下方向」に「-10000」mmの移動でコピーをとります
- ③ X個数は、元の図形も含めた合計の数を入力します
- ④ Y個数は、元図形も含めた合計の数を入力します

**Step 08** コピー終了

配列コピーは余る数を配列コピーして、後から不要な個所を削除 (Deleteキー) します



◆ 作業効率をアップする「操作のワンポイント」◆



は「元に戻す」ボタンですが、ショートカットは「control+Z」でも同じ操作です



は「やり直し」ボタンですが、ショートカットは「control+Y」でも同じ操作です



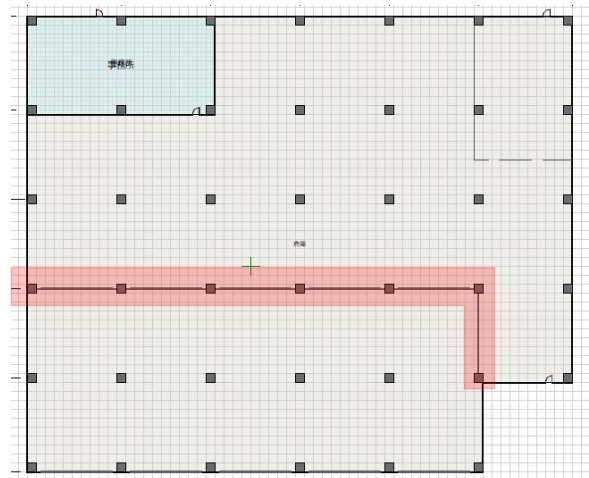
今後良く出てくるパレット「シフトパッド」といいます
数値で移動したり、隣にコピーを取ったり、沿わせたりできます

最後に方向のボタンをクリックすれば操作完了です


距離に数値を入れておくと、その数値に従ってそれぞれの働きをします

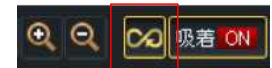
Step 01 倉庫に壁を入力する

倉庫内の柱と柱の間に新たに壁を設けると、倉庫内の区画を分けることができます


**Step 02** 連続入力の活用

作業効率UP！

壁作成の「壁」を選択し、ツールバーにある「連続入力」ボタンをON  にしておきます

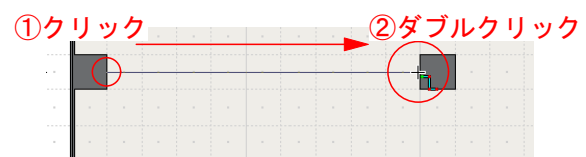


連続入力ボタン

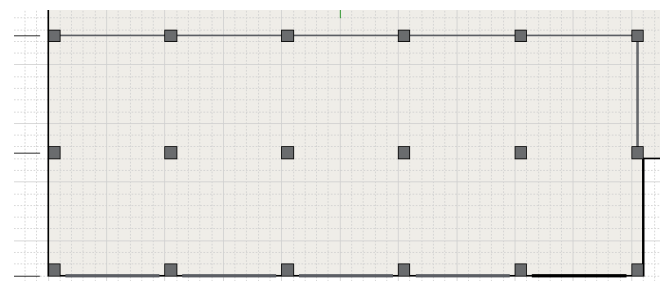
連続入力のOFFの状態は、 の外枠が消えている状態になります

Step 03 壁の入力

柱の右側中央でクリックして、もう片方の柱の左側中央でダブルクリックで作図します



連続入力をONにして操作すると、残りの壁も繰り返しの操作をすれば完成します



Step 01 物流シャッターの配置

ナビの「ドア・シャッター・窓」を選択します
パレットから「物流」をクリックすると、シャッター
パーツが表示します

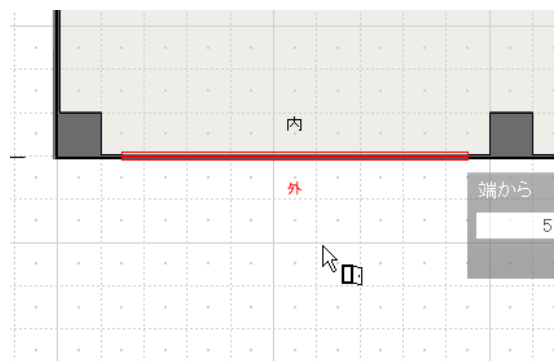


ナビ

パレット

Step 02 シャッターの配置

パーツを選択し、壁の上でクリックします
右図のように表示したら、内側と外側（マウスがある
方が外側）を決めて再度クリックします



Step 03 事務所ドアの配置

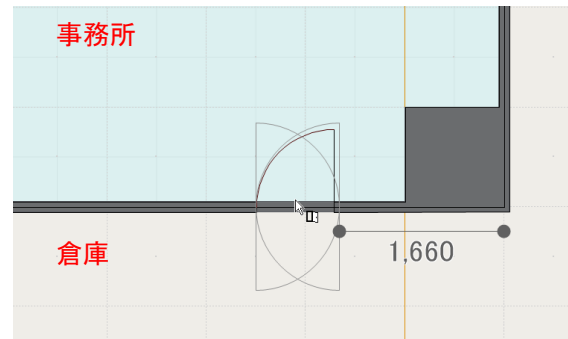
作業効率UP！

「室内ドア」の種類から「室内片開き」を選択します
何千点もあるパーツを探す場合、種類の外に
「メーカー」や「スタイル（色味等）」から目的に応じて
選択肢を絞っていくと探しやすいです

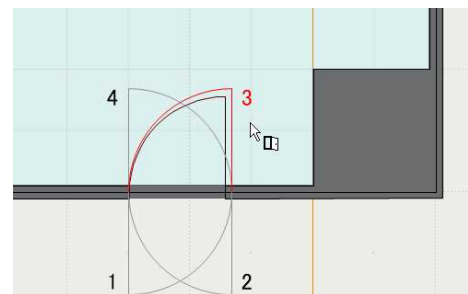


Step 04 室内ドアの配置

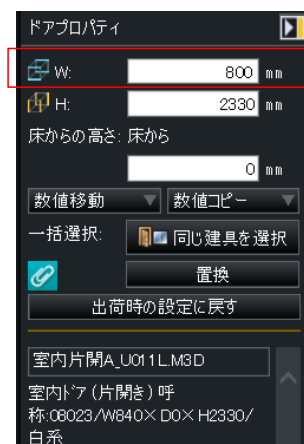
ドアを配置したい壁の上でクリックします

**Step 05** ドアの開き勝手の位置

1～4の数字が表示したら、ドアの開き勝手の位置を下絵の場所に合わせてクリックします

**Step 06** ドアの大きさの変更

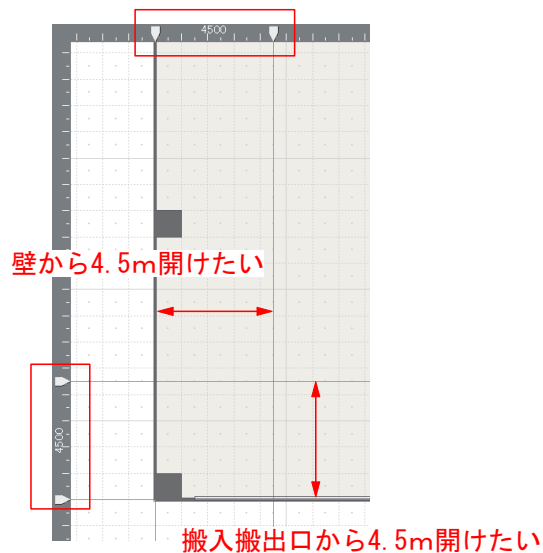
ドアプロパティで、ドアの幅や高さ等を変更できます



Step 01 ガイド線の活用

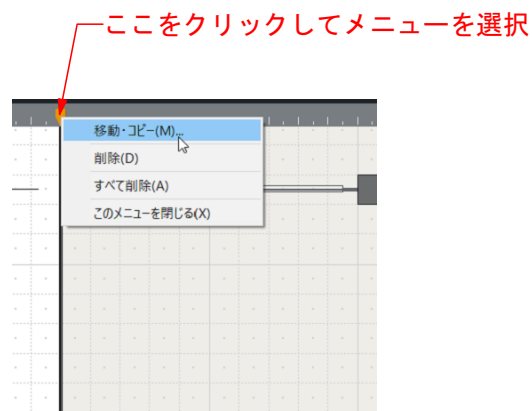
この物流倉庫3Dは、直感的に入力ができるのが特徴ですが、正確な数値で間隔を指定して配置をしたいという場合に、このガイド線が活躍します

例えば、壁から4.5mの間隔を開けてパレットラックを配置したい。など、数値を意識しながら入力したい場合に活用ください。

**Step 02** ガイド線の表示方法

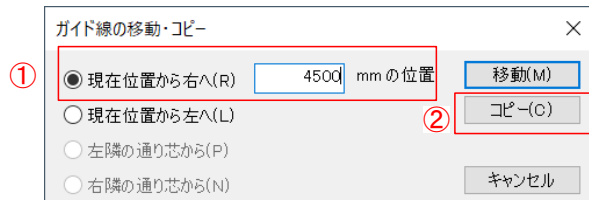
グレーのメモリ部分でマウスをクリックすると、ガイド線とそれに関するメニューが表示します

「移動・コピー」を選択します

**Step 03** ガイド線の移動・コピー

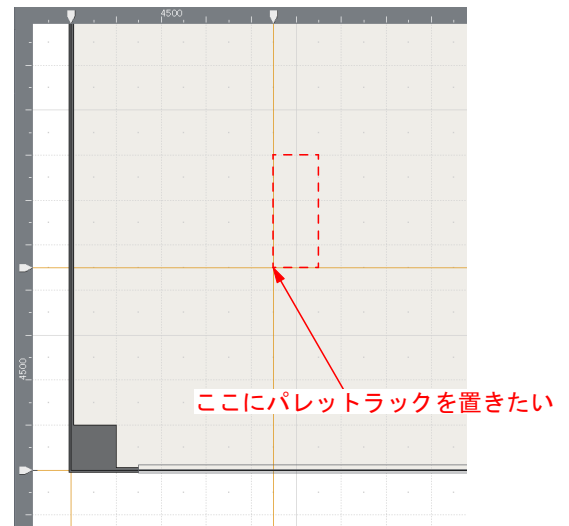
①ガイド線を追加したい場合、現在位置からの数値を入力します

②追加したい場合は「コピー」を移動したい場合は「移動」ボタンをクリックします



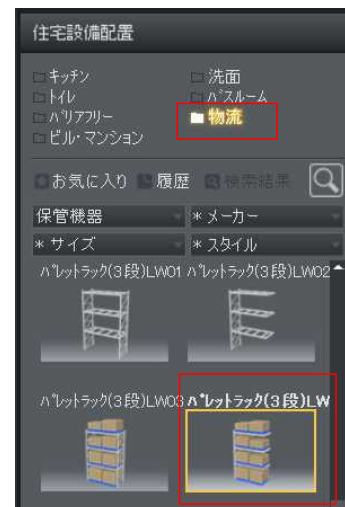
Step 04 パレットラックの配置


ガイド線を縦と横に設定し、右図の位置にパレットラックを配置します

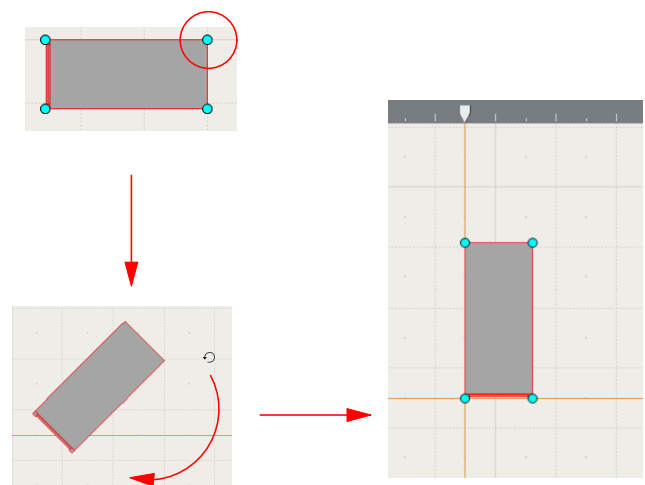
**Step 05** パレットラックの選択

ナビの「設備機器」から「物流」を選択し、種類を「保管機器」に絞ります

パレットラック (連結: 3段) を選択します

**Step 06** パーツの回転


パレットラックをクリックし、一旦ガイド線付近でクリックして配置した後、水色の回転カーソルにマウスを近づけ  になったらパーツを回転します

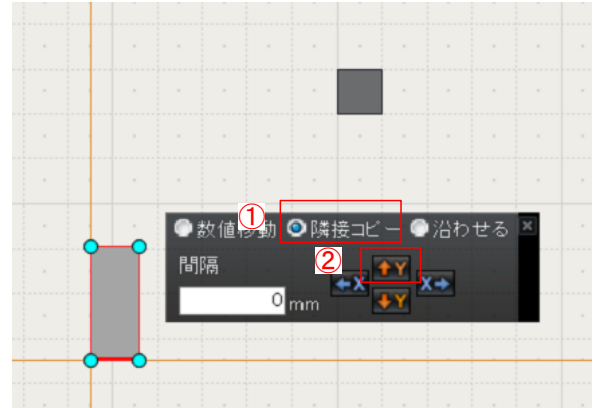


Step 07 隣接コピー

パレトラックが選択されていると、自動的にシフトパッドが表示します

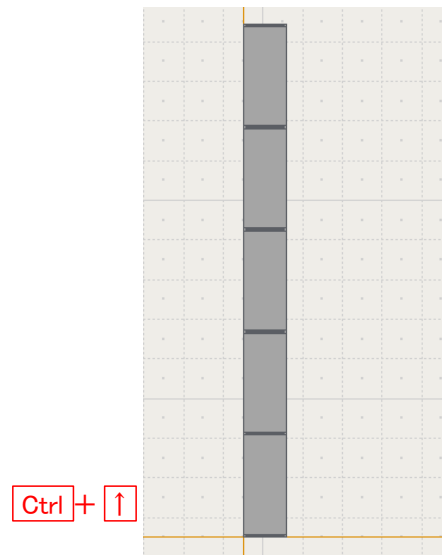
シフトパッドから

- ① 隣接コピーを選択します
- ②  ボタンを配置したい数の分だけクリックします



Step 08 隣接コピー (ショートカットキー)

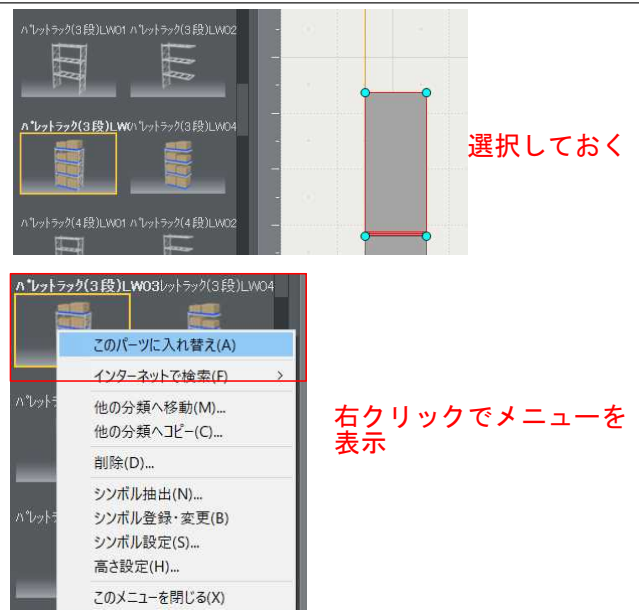
Ctrl+矢印 (コピーしたい方向の矢印キー) を押せばさらに効率の上がるコピーができます



Step 09 パーツの入れ替え

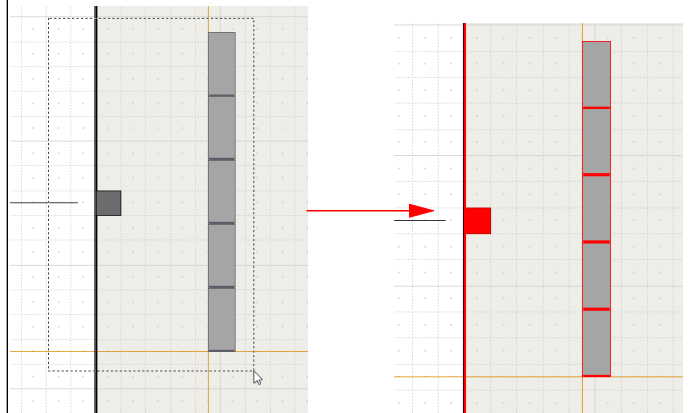
最後のパレトラックは、連結タイプから基本タイプにパーツを入れ替えます

すでに配置したパーツを入れ替える場合は、すでに配置してあるパーツを選択してから、パレットにある入れ替えたいパーツの上で右クリックし「このパーツに入れ替え」を選択します



Step 10 パーツ選択方法

パレットラックをまとめて右にもコピーをとります
 パレットラックが入るように、パレットラックの近くで囲もうとすると、部屋（倉庫）が動いてしまわず動かさないように、部屋の外側から囲んで選択すると、今度は部屋（倉庫）や柱など選択されてほしくないものまで選択されてしまいます



囲んで選択したら・・・

余計なものまで選択・・・

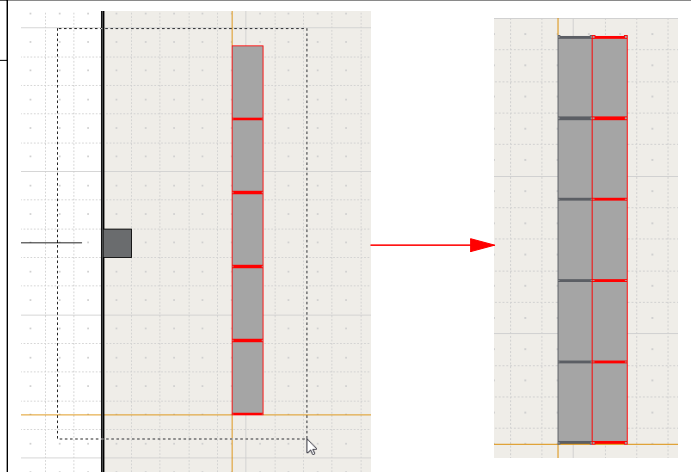
Step 11 躯体ロック機能

作業効率UP!

パレット左下に「躯体ロック」のチェックボックスがありますクリックしてチェックを入れます
 チェックを入れると部屋や柱が選択できなくなるため、パーツだけを直接選択することができます

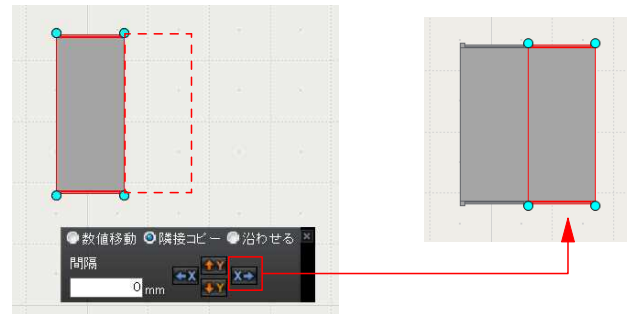
**Step 12** まとめて隣接コピー

まとめてコピーしたい場合は、パーツを複数選択しておくことができます



Step 13 隣接コピー

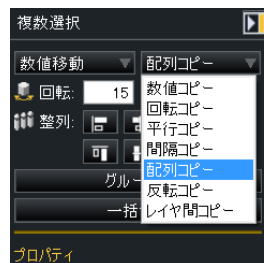
隣接コピーは選択した図形のすぐ隣にコピーができます。シフトパッドでコピーしたい方向のボタンをクリックします。



Step 14 配列コピー

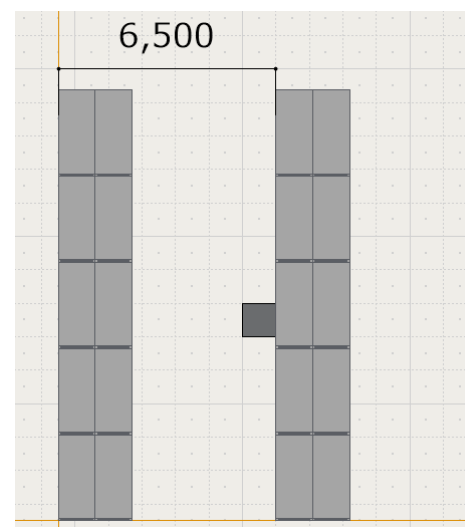
メニューまたはプロパティから（絵はプロパティ）配列コピーを選択します。

コピーダイアログボックスが表示したら、オフセット（移動量）と個数を入力します。



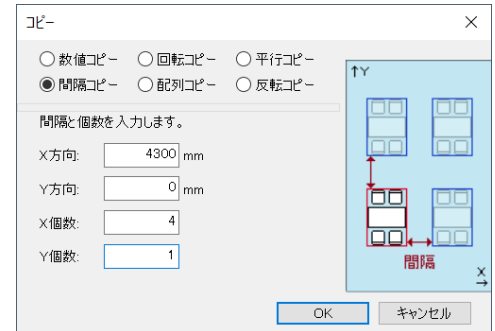
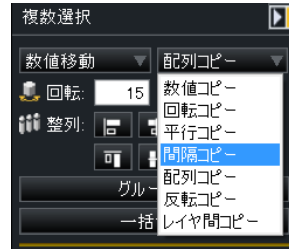
Step 15 配列コピーの結果

前項のダイアログでも示されているように、オフセット（移動量）は選択された図形の端から、開けたい間隔までを含めた数値を入力するのがポイントです。



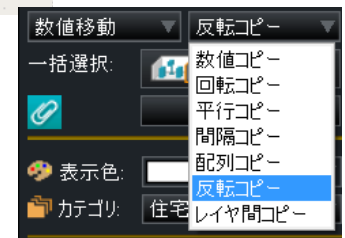
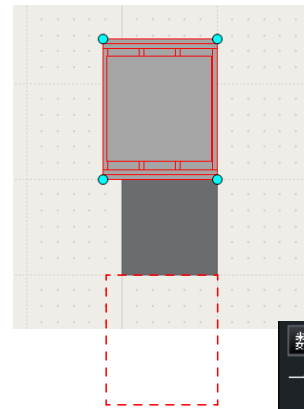
Step 16 間隔コピー

間隔コピーは、パーツの間隔と個数を数値指定したコピーができます



Step 17 反転コピー

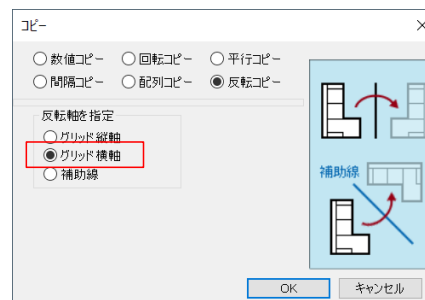
反転コピーは、ある軸を元に反転コピーします
予め図形を選択して、メニューまたはプロパティから「反転コピー」を選択します



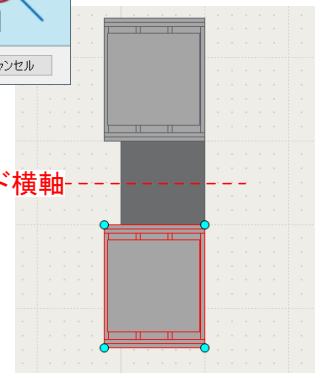
Step 18 反転コピーの仕組みと結果

ダイアログボックスが表示したら「グリッド横軸」を選択しOKをクリックします

軸にしたい場所でクリックすると、その場所を横軸として反転コピーが実行されます



グリッド横軸



Step 01 ゾーン分けをする

ナビの「ゾーン/間仕切り」の「ゾーン」を選択します

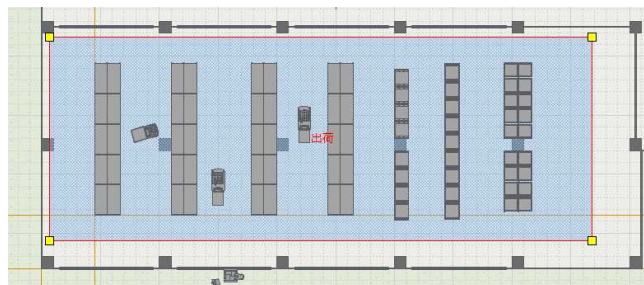


ナビ

パレット

Step 02 ゾーンを指定する

出庫ゾーンを囲みます



Step 03 集計表を出す

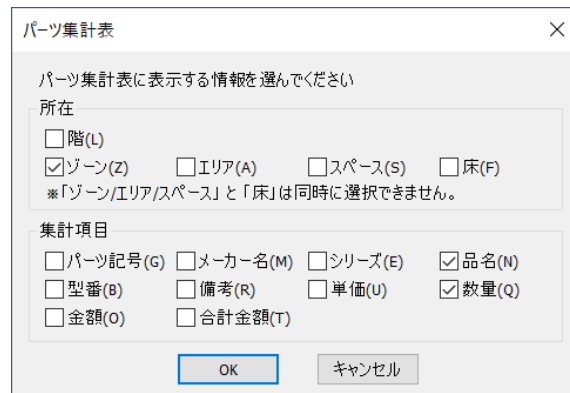
ツールメニューから「作表」の「パーツ集計表」を選択します



Step 04 パーツ集計表ダイアログ

メニューを実行するとダイアログが表示します

集計を取りたい項目にチェックを入れます



Step 05 パーツ集計表

チェックを入れた項目のパーツ集計表が表示されます

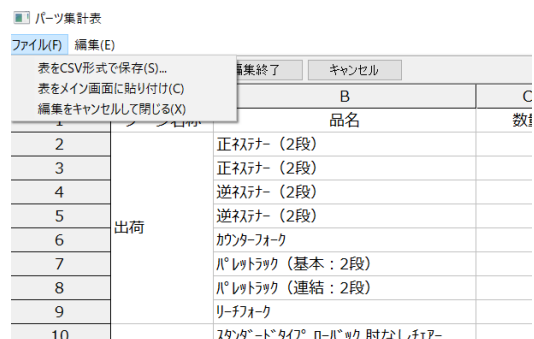
	A	B	C
74		正ネジナ (2段)	9
75		正ネジナ (2段)	9
76		逆ネジナ (2段)	13
77		逆ネジナ (2段)	4
78	出荷	カウンターフォーク	2
79		パレットラック (基本: 2段)	8
80		パレットラック (連結: 2段)	32
81		リチフォーク	1
82		追従型運搬ロボット	1
83		加丁車	77
84		加丁車	2
85		ダンボール (4回し)	1
86		ドロー	7
87		パレット (1100mm木製)	1
88		パレット (1100mm木製)	72

Step 06 ファイルメニュー

パーツ集計表のファイルメニューには以下のコマンドが用意されています

- ・表をCSV形式で保存…Excelで編集可能
- ・表をメイン画面に貼り付け…編集画面に貼り付け

など目的に合わせて集計表を活用できます



Step 01 完成イメージ

物流関連のパーツに入っていないものは、標準で搭載しているパーツを代用してイメージを伝えるのも一つの手段ですここでは、外構のフェンスを代用した一例を紹介します



(①と②の説明はStep03を参照)

Step 02 外構ナビのパーツを利用する

ナビの「外構」の「エクステリア」、種類を「塀・フェンス」を見てみると、代用できそうなパーツがいくつか見つかります

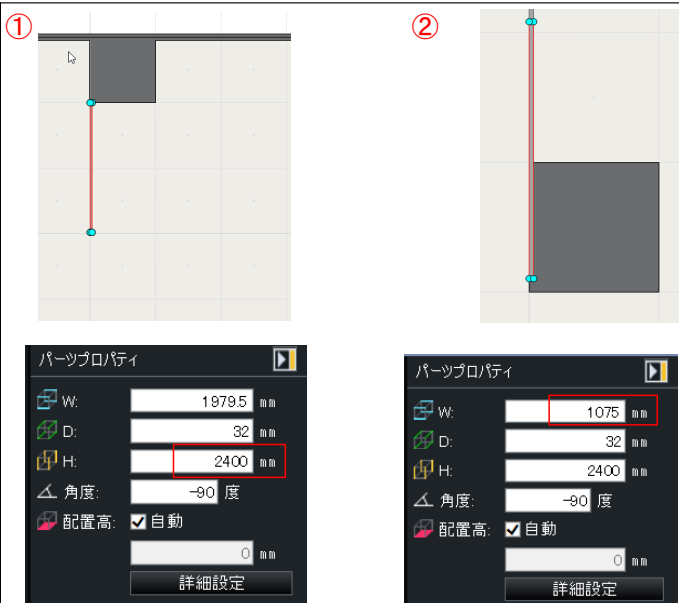
完成イメージのパーツは「TXフェンスD02」になります



Step 03 パーツの大きさを変える

パーツを配置し①は高さを変更しました。②は柱に食い込んでしまった分を幅を変更して調整しました。それぞれを編集した結果が上記のイメージ図になります

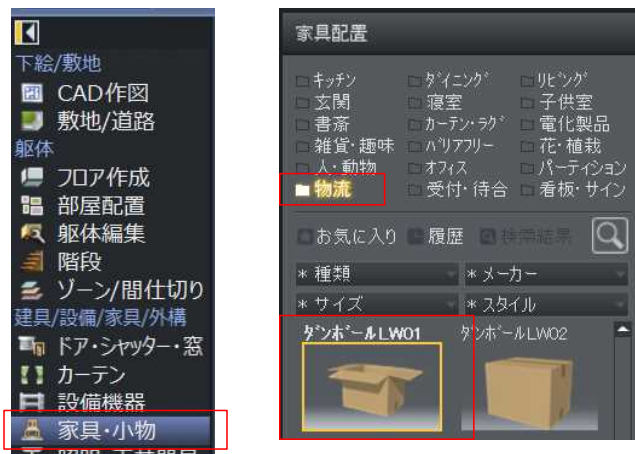
イメージを伝える時、物流に特化したパーツが見当たらない場合は、住宅向けのパーツを代用して効率よく利用するのも一つの手段です



Step 01 物流用のパーツ

家具・小物にも物流関連のパーツが収録されています

家具小物ナビ - 「物流」 ... 段ボールや小物などの荷物パーツ



ナビ

パレット

Step 02 人物パーツ

家具小物ナビ - 「人・動物」 - 物流用人物

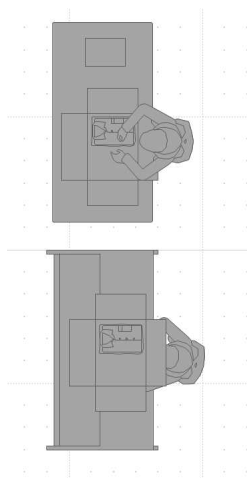


Step 03 パーツ配置ポイント

パーツ配置のワンポイントは、同じ階層（例えば家具小物配置）では、下に来るものから配置すると、間取平面上での見え方（前後関係）が正しく表示します

また **吸着 OFF** にすると配置がなめらかに動きます

配置した順序

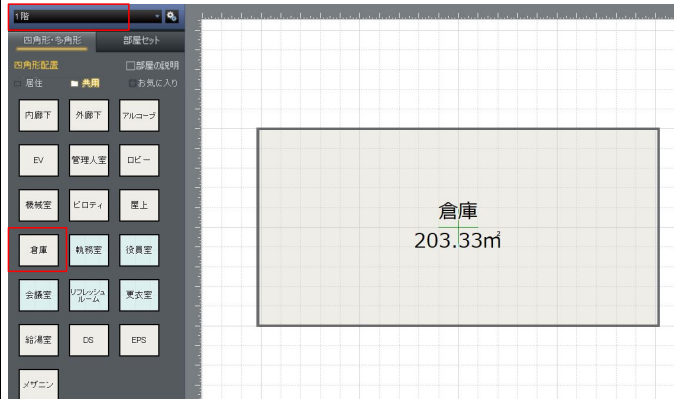


1. 作業机
2. 段ボール又は帳票
3. 発送物
4. 人物

1. 作業机
2. 人物
3. 段ボール又は帳票
4. 発送物

Step 01 1Fと2Fを活用する

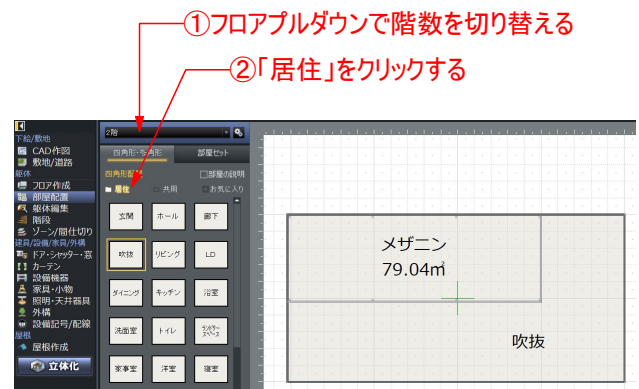
1Fには倉庫を配置します



Step 02 2Fにメザニンを配置する

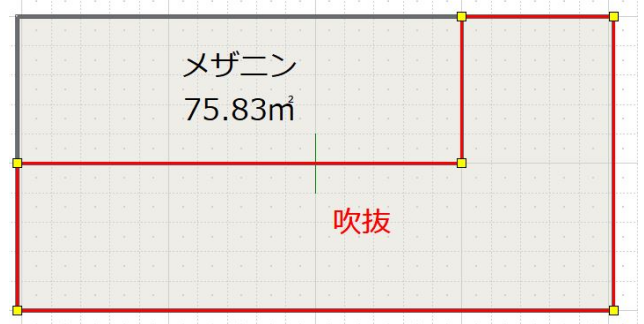
- ①フロアプルダウンを押してフロアリストから「2階」を選択すると、作業画面が2階に切り替わります
- ②グレーの線で表示された1階倉庫を参照し、メザニンを配置後、右図のように上から「吹抜」を配置します

「吹抜」は「居住フォルダ」にあります



Step 03 重なり除去コマンド

原則部屋は重なり合ってはいけません
その場合は「重なり除去」コマンドを使います
「吹抜」で右クリックをし「重なり除去」を選択すると右図のように重なり合った部屋が除去されます

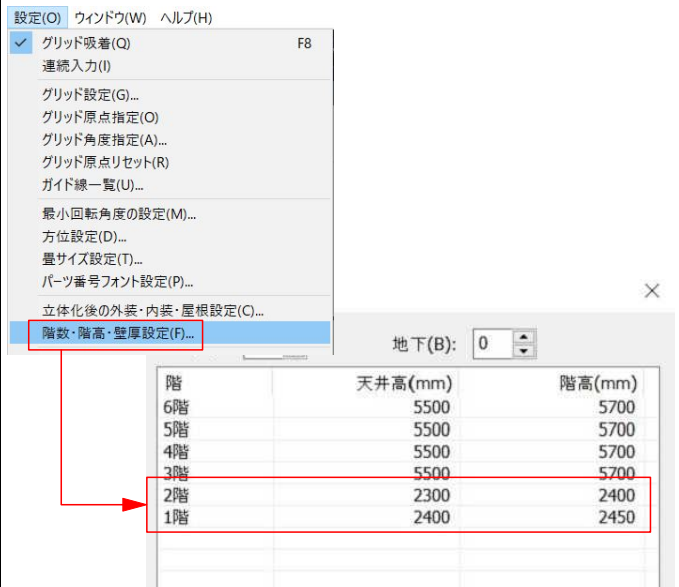


Step 04 階数・階高の調整

3D物流倉庫の各階の天井高、階高のデフォルトは天井高「5500」、階高「5700」に設定されています「設定」メニュー「階数・階高・壁厚設定」を選択し、高さを調整します

ここでは、以下の高さを例に説明します例)

「1階」 天井高：2400 階高：2450
 「2階」 天井高：2300 階高：2400



Step 05 手すり配置

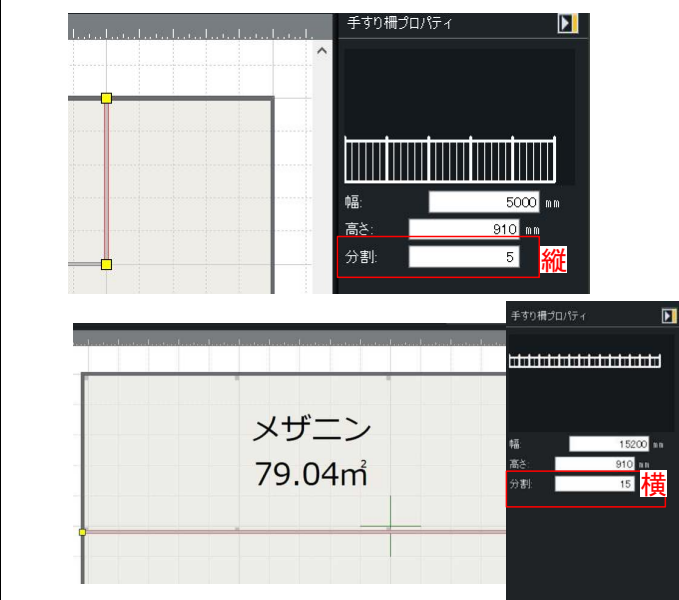
メザン部分には、手すり柵を設置します

「躯体編集」ナビの「手すり柵」ボタンをクリックします



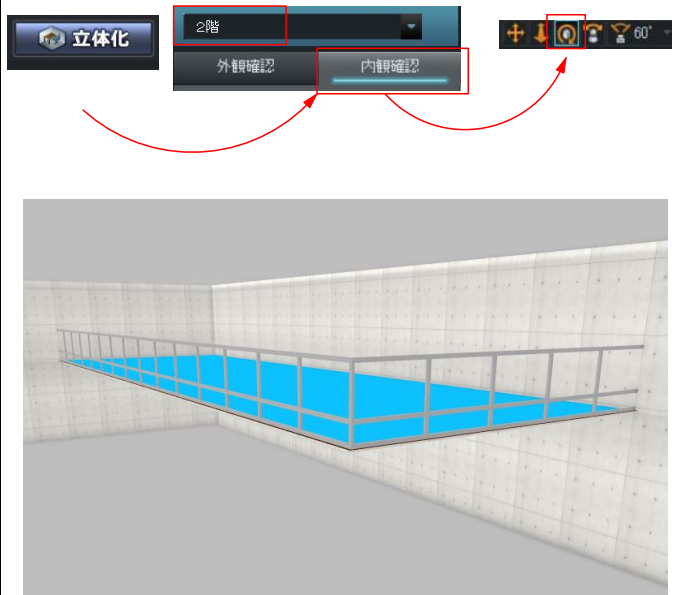
Step 06 手すり柵の分割の設定

手すり柵プロパティの「分割」を変更できます
 縦横それぞれに、1000mm間隔で分割します



Step 07 立体化ボタンで確認

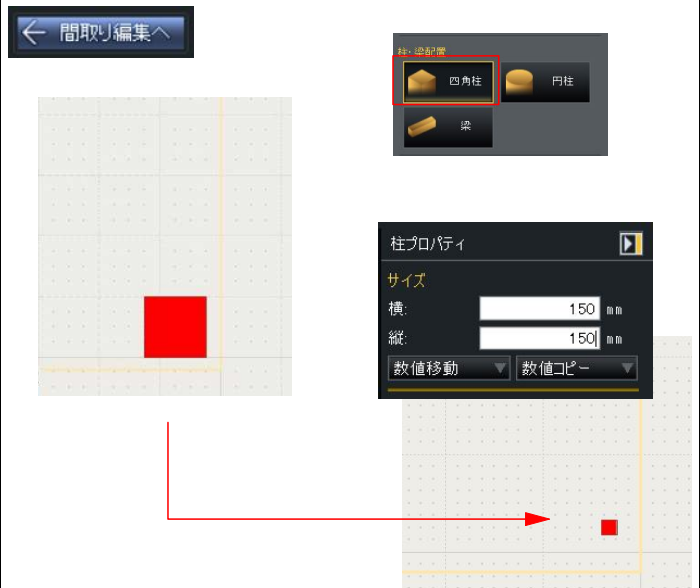
立体化ボタンをクリックし、手すり柵を確認します
右図の視点にならなければ「簡単ムービー」ナビの
「内観確認」「2階」に切替え、回転ツールで動かし
てみましょう
「立体化」に関する細かい操作方法は後述を参考にし
てください



Step 08 柱の設置

メザンスペース下に柱を設置します
間取編集に戻り、1階に切替えます

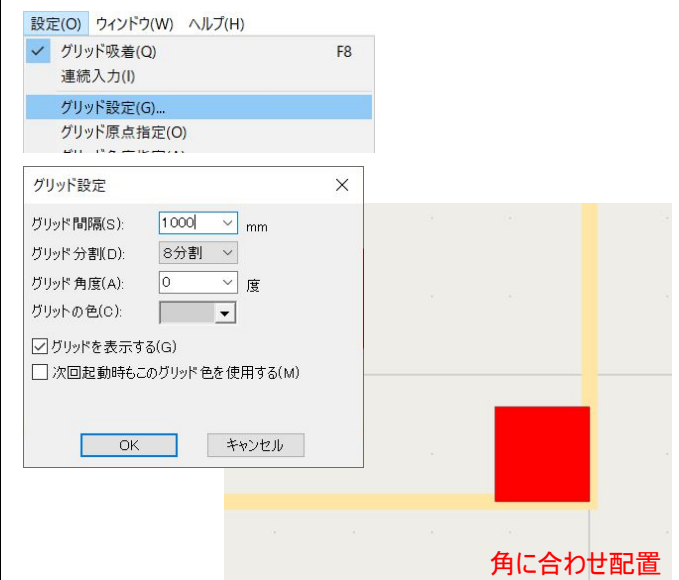
「躯体編集」ナビ「柱・梁配置」から「四角柱」を
選択し、メザンの右下隅に柱を配置します
デフォルトの柱の大きさが500mm角なので、プロパ
ティから横、縦ともに「150」に変更します



Step 09 柱の設置

柱の配置には、グリッド設定の分割数を変更してマウ
スで合わせます
「設定」メニューの「グリッド設定」から「グリッド
分割」を「8分割」に設定しOKをクリックします

柱を角に合わせて配置します



角に合わせて配置

Step 10 柱をコピーする

角に配置した柱を選択します



Step 11 配列コピー

柱を配列コピーを使用し、一度に柱を配置します
柱を選択し、プロパティから「配列コピー」を選択します

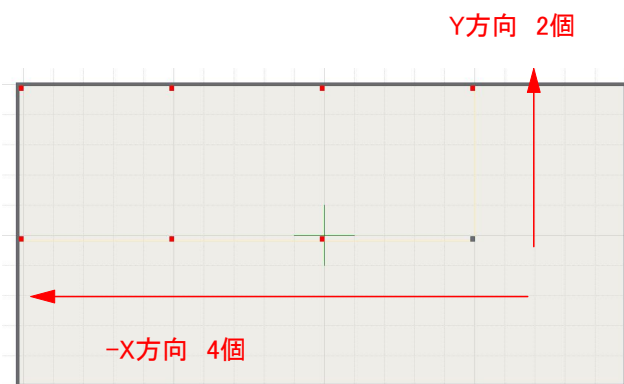
X方向：-5000
Y方向：5000
X個数：4
Y個数：2

※個数は、コピー元の柱も含めた数値を入力します



Step 12 配列コピー結果

コピーにはさまざまな用途に合わせたコピー方法が
選べます



Step 13 柱に色をつける設定

立体化ボタンをクリックします

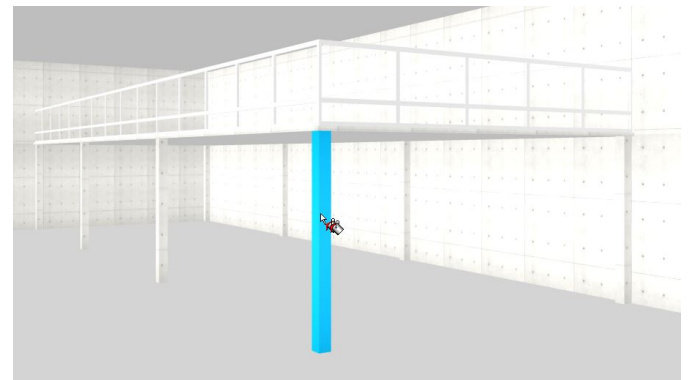
「壁・床材」ナビを選択し、パレットから「色」タブを選択します

BB_31を選択し、「連続ON」「一面ずつ」にチェックを入れます

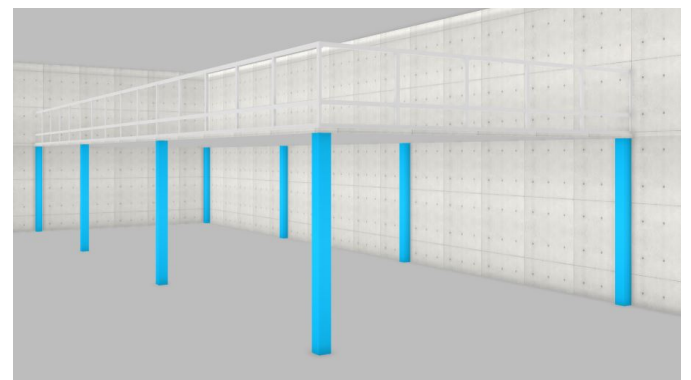
※1面ずつにチェックを入れないと、1F全体の壁・柱(構造物)に色が付きませ

**Step 14** 柱に色をつける

カーソルがペンキに変化し、柱の色が切り替わったらクリックし柱に色をつけます

**Step 15** 柱の色付けの完成

柱の色がつけました

**【caution】**

壁、柱、床など構造に関わる箇所はテクスチャが初期値に戻る場合がありますその際は再度テクスチャを貼りなおしてください。

Step 16 階段の配置

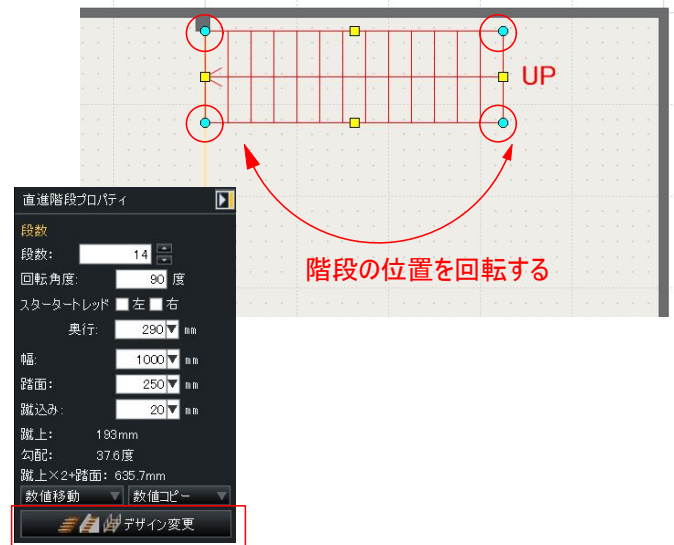
メザニンに上がる階段を配置します
 「間取編集」ボタンをクリックし「階段」ナビをクリックすると、パレットに階段が表示します
 ここでは直進階段を選択します

← 間取り編集へ



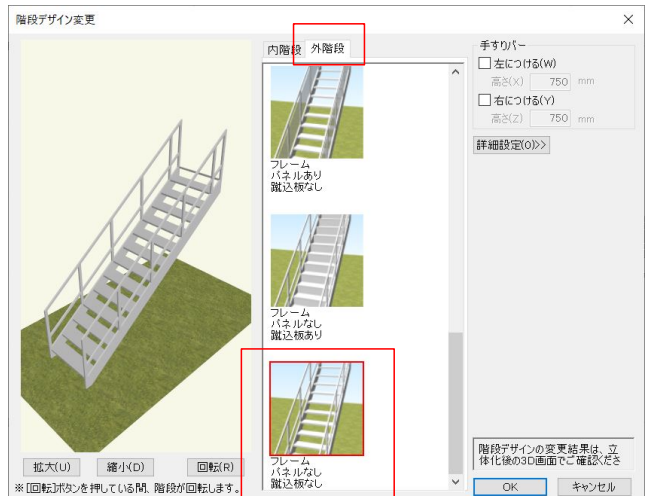
Step 17 階段の向きを変更する

マウスで水色の点をつかむと回転をします
 回転後、プロパティから「デザイン変更」ボタンをクリックします



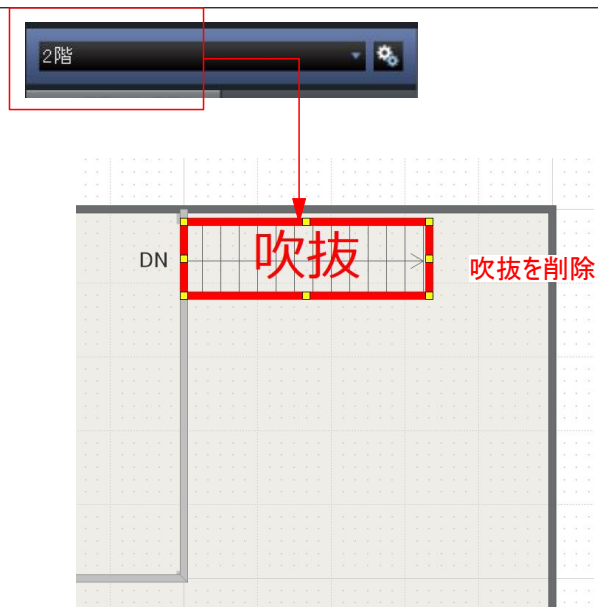
Step 18 階段のデザイン変更

ダイアログが表示したら「外階段」タブをクリックし
 階段のデザインを選択しOKをクリックします

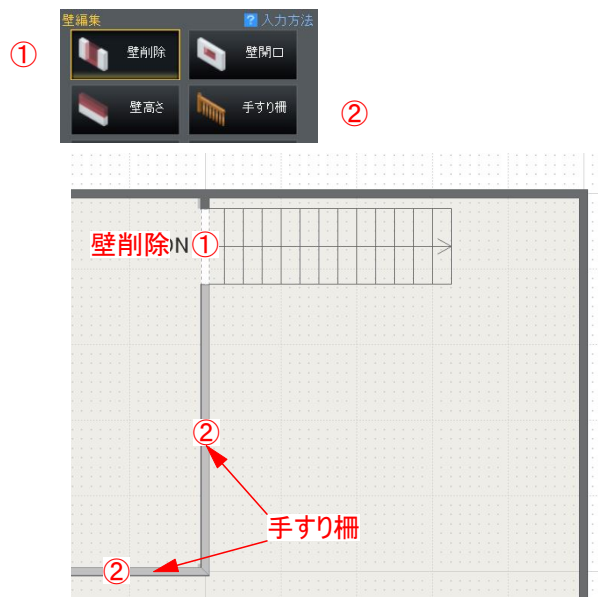


Step 19 2階に切替える

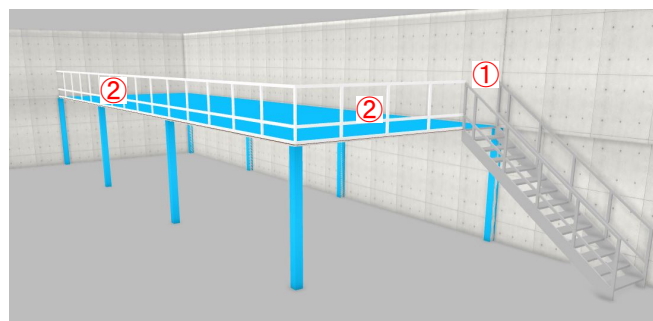
階段パーツを配置すると、上階には「吹抜」が自動的に配置されます
ここでは、階段に壁面が不要のため、吹抜を削除します

**Step 20** 手すり柵の編集と壁削除

すでに配置している縦の手すり柵を、マウスで階段部分までリサイズします
再び壁が表示したら「躯体編集」ナビの「壁編集」で「壁削除」ボタンをクリックし、階段部分のスペースをマウスドラックして削除します

**Step 21** 複数フロアの完成

多数階フロアを使ったメザンスペースが完成しました



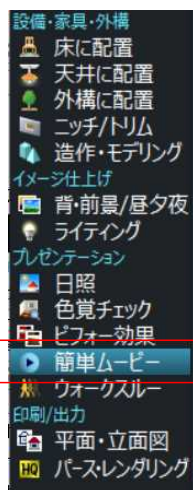
Step 01 外観

ナビの「立体化」をクリックします



初めて立体化に切替えた時は、ナビは「簡単ムービー」になり、パレットは「外観」と「内観」を確認することができます

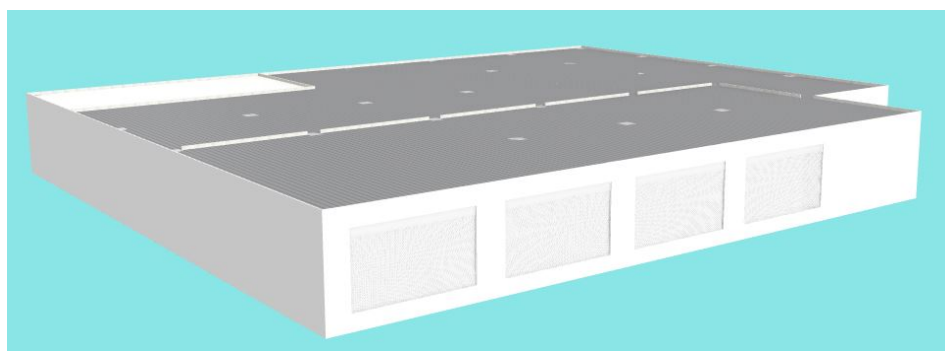
立体化ナビ



パレット

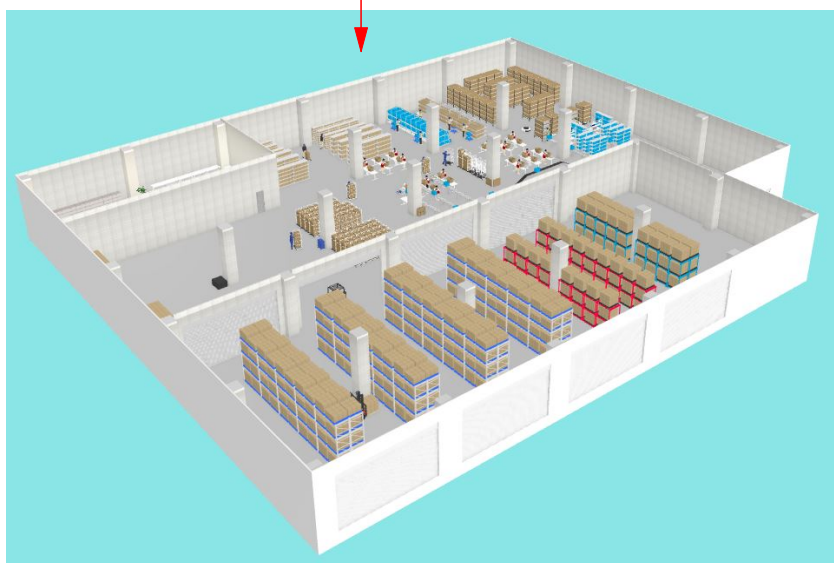


また、外観は天井が表示されているため、中は見えなくなっています



Step 02 屋根・天井の状態設定

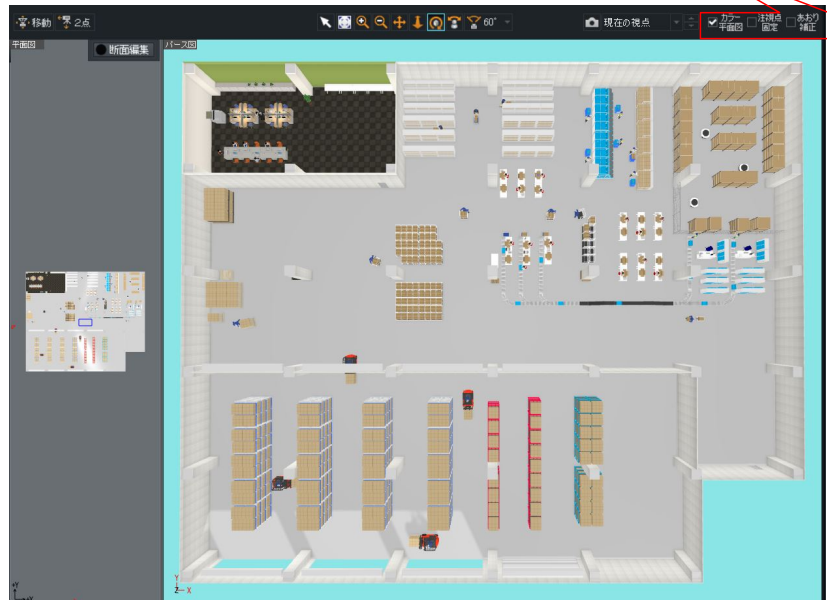
一時的に天井を非表示にしたい場合、ツールバーの「屋根・天井の状態設定」をクリックすると、天井が非表示になり中の様子を確認することができます



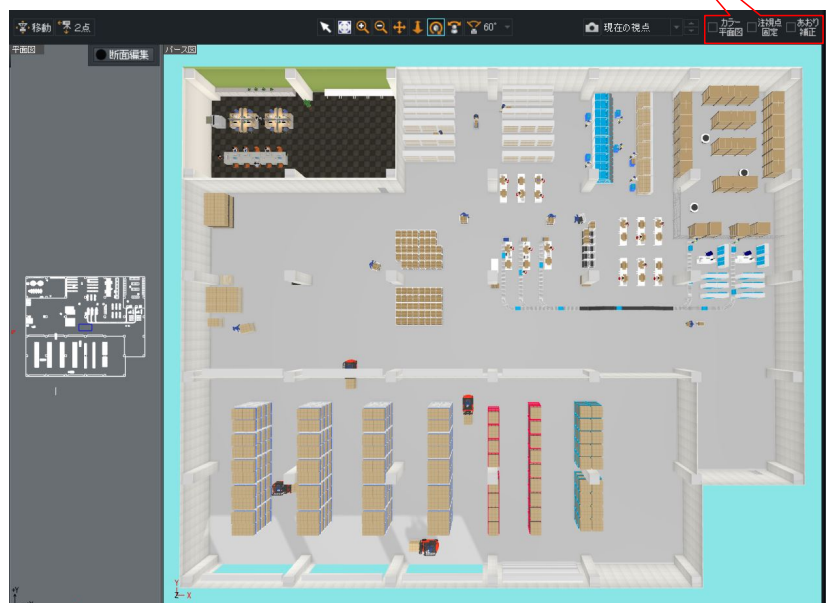
Step 03 内観（カラー平面図 ON）

内観タブをクリックすると、画面表示が二面図表示になります

初期は左側の平面図もカラーになっています

**Step 04** 内観（カラー平面図 OFF）

カラー平面図のチェックを外すと、左側の平面図の表示がワイヤーフレーム（線画）に変更します



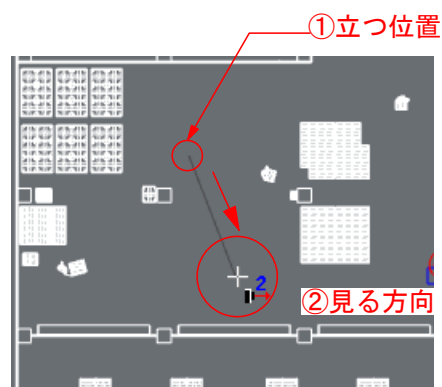
Point
その時に応じて、カラー平面図のON/OFFを切り替えて使用してみてください

Step 01 立つ位置と見る方向を決める (2点指示)

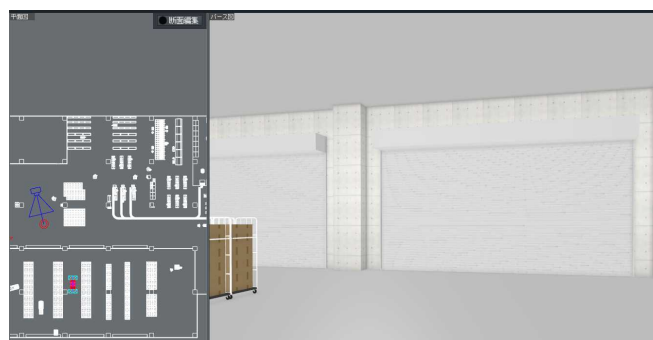
平面図画面から「2点」(立つ位置と見る方向を決める)を選択します

①立つ位置でクリックし、見たい方向にマウスを移動します

②見る方向が決まったら再びクリックします

**Step 02** 視点変更の結果

立つ位置と見る方向を指定すると、右側のパース図が自動的にそのアングルでパース表示します

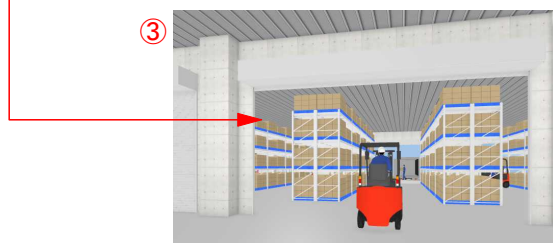
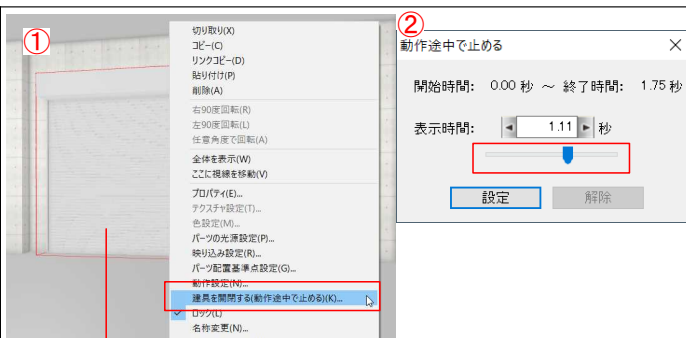
**Step 03** 建具を開閉する (動作途中で止める)

物流シャッター、ドア、窓は、パーツを配置後、立体化画面において、開閉の設定ができます

①シャッターのパーツを選択し、赤枠を確認したら右クリックから「建具を開閉する」を選択します

②スライダーを右にスライドすると建具が開きます

③シャッターが開き、出荷ゾーンが見えました



Step 04 開けたシャッターを元に戻す方法

パーツを全開にすると、元に戻そうとパーツのプロパティの「アクション」が動作しなかったり、パーツを右クリックして「建具を開閉する」コマンドが表示しなかった場合の対処方法を紹介します



開閉のコマンドが出てこない

アクションのバーがつかめない

Step 05 ロック解除をする

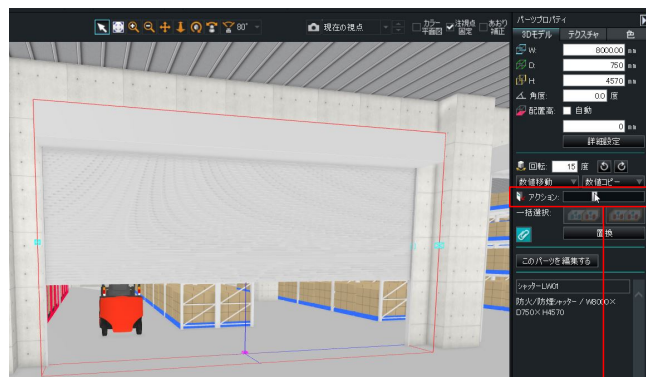
パーツの上で右クリックし「ロック」を選択するとロック解除になります

パーツプロパティをみると「アクション」スライダーがつかめるようになりました




Step 04 開閉する

「アクション」スライダーでシャッターを開閉できるようになりました




Step 01 視点の登録方法

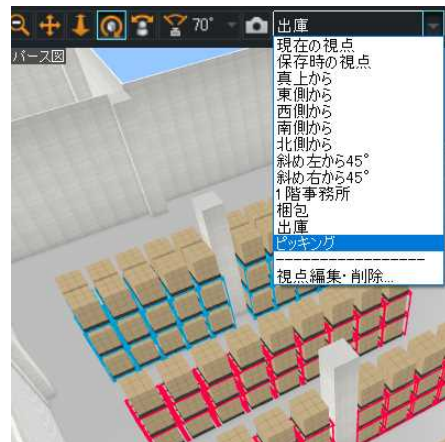
登録したい視点を、前項の「立つ位置と見る方向を決める」でアングルを決めておきます
登録したいと思うパース図になったら、パース図上にある  をクリックします



Step 02 視点登録の呼び出し方法

登録した画面は、 **現在の視点** をクリックすると一覧で表示します

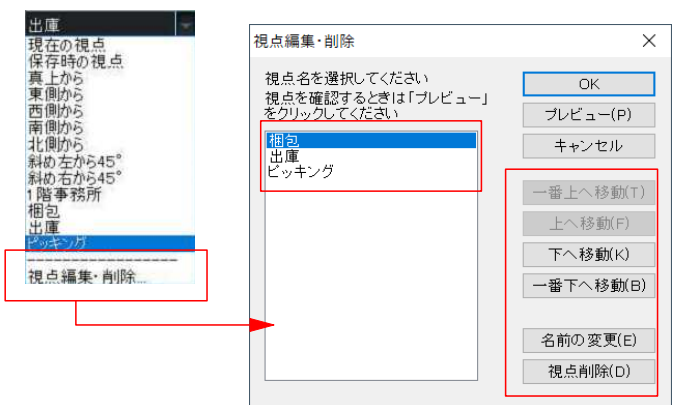
上部はあらかじめ固定の視点が登録されています
下部に新たに登録した視点が追加されていきます
見たい視点を選択するだけです



Step 03 視点編集・削除

自身で登録した視点は視点登録最下部にある
「視点編集・削除」から変更が可能です

名称を選択し、順番を変更したり、名称変更したり、
視点削除を行えます





トラックバース

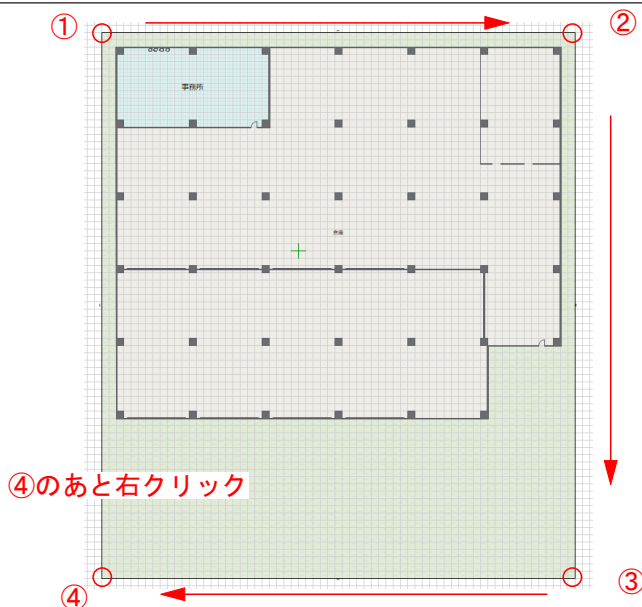
Step 01 敷地を作成する

「間取編集」に戻り、ナビの「敷地作成」から敷地を作成します



Step 02 敷地を作成する

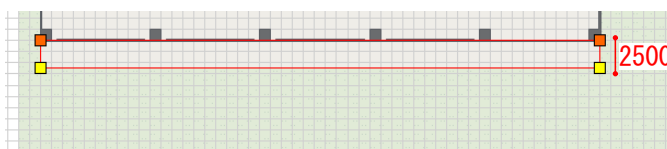
右図のように、建物を囲うようにクリックしながら敷地を作成します④をクリックした後、最後は「右クリック」をすると敷地作成が終了し、①と繋がります



Step 03 その他のスペースを作る

倉庫の外のトラックバースとの間に作業スペースを作成します

「外構」ナビの「自由入力」を選択して、倉庫から2500mm出た形状をクリックで作成していきます



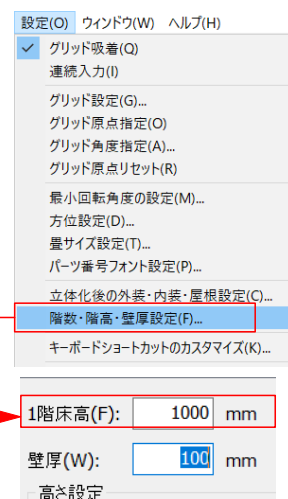
Step 04 高さを変更する

作図が終わったら、画面右の「外構形状プロパティ」の高さを「1000」に変更します

設定メニューの階数・階高・壁厚設定コマンドの中の「1階床高」が1000mmに設定してあるため、倉庫の床の高さが上がっている状態なので、作成した形状の高さもその数値に揃えています



高さを1000にする

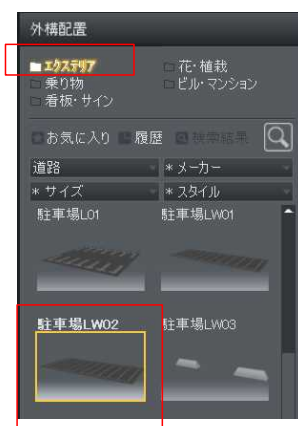


1階床高は1000で設定されている

Step 05 駐車場パーツを配置する

敷地のトラックバースの部分には、駐車場パーツを配置します「外構」ナビの「エクステリア」から、種類を「道路」に絞ると表示します

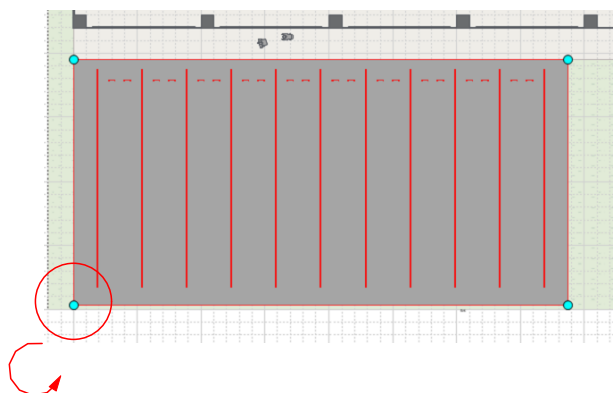
駐車場LW02を配置します



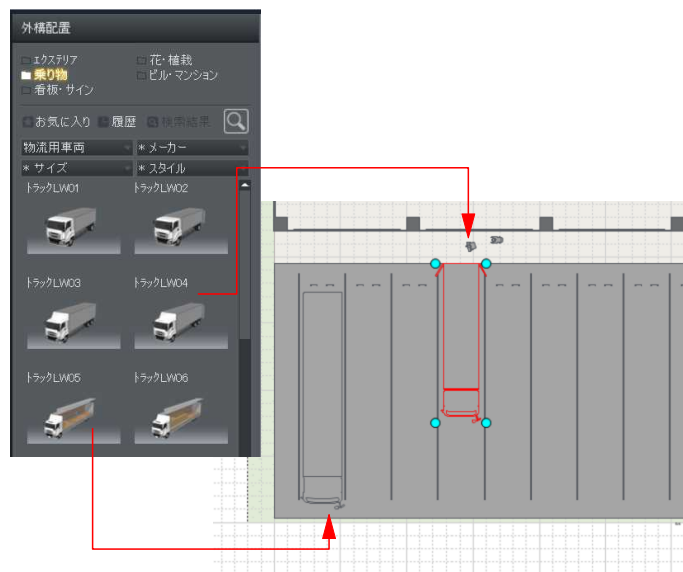
Step 06 回転する

駐車場パーツの向きを変更します

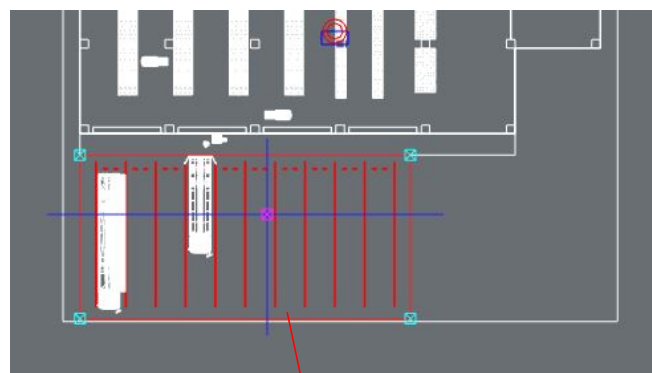
水色の点にマウスを近づけ、回転カーソルで駐車場パーツの向きを変更します

**Step 07** トラックパーツを配置する

「乗り物」フォルダを選択して、「種類」から「物流用車両」を選択します

**Step 08** トラックパーツの大きさの変更方法

「立体化」画面に切替え、平面図から駐車場を選択します



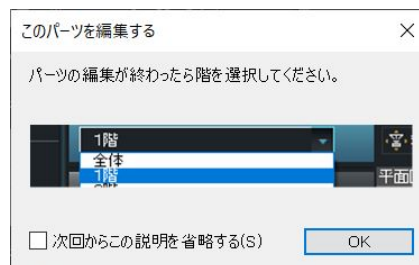
パーツを選択

Step 09 パーツを編集する

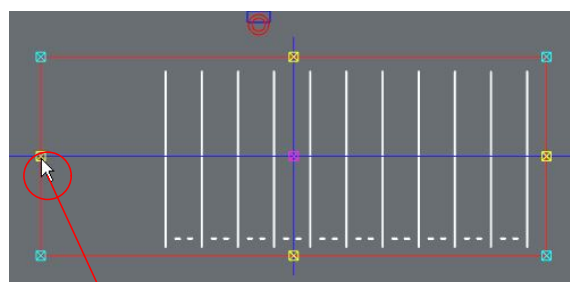
駐車場パーツのプロパティの「このパーツを編集する」ボタンをクリックします

**Step 10** ダイアログの表示

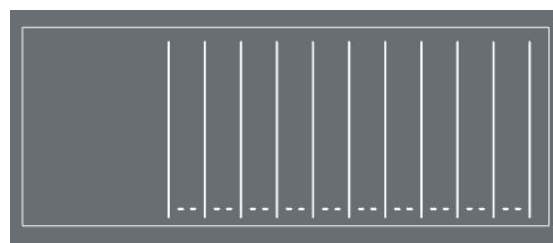
「パーツの編集が終わったら階を選択してください」というダイアログが表示します
次回からこの説明を省略する場合は、チェックを入れてからOKボタンをクリックします

**Step 11** サイズ変更

マウスでリサイズするか、プロパティから数値で大きさの変更をします

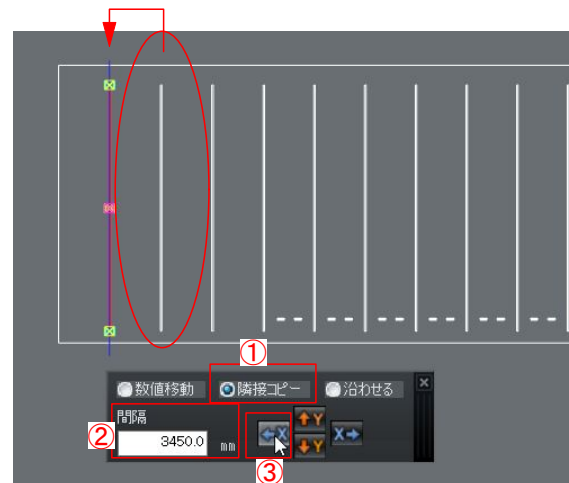


サイズ変更

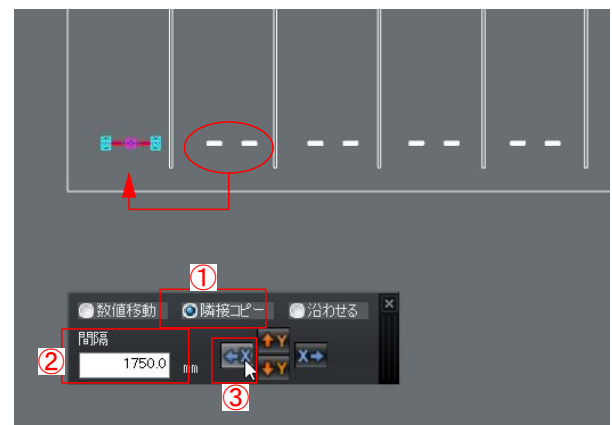


Step 12 白線をコピーする

足りない白線等は、シフトパッドを利用して効率よくコピーを取ります
 白線を選択し「隣接コピー」を選択し、「間隔」をここでは「3450」と入力し、「←X」ボタンをクリックします

**Step 13** 車止めブロックのコピー

同様に車止めブロックのパーツを選択し、必要な間隔で隣接コピーします

**Step 14** パーツ編集の終了

パーツ編集が終わったら「階」を選択すると作業を終了できます



パーツ編集が終わったら「階」を選択



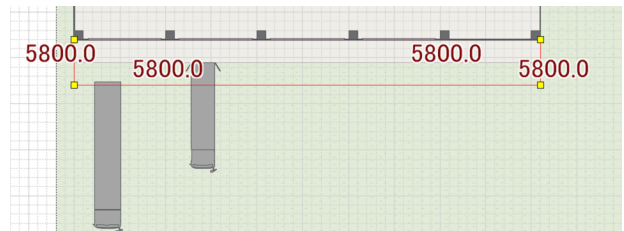
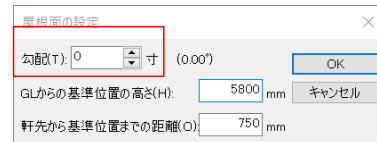
Step 01 屋根を作成する

倉庫とトラックバースの間に屋根を作成します
「屋根作成」ナビを選択し、「手動屋根」をクリックします



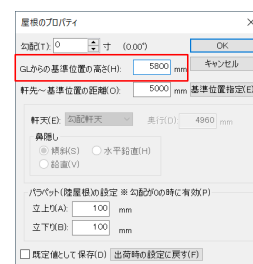
Step 02 手動で屋根を作成する

屋根にする四隅をクリックし、最後に右クリックして屋根面の設定をします
作図直後は屋根の勾配が「0.7」になっていますので、勾配を「0」にしてフラットにします



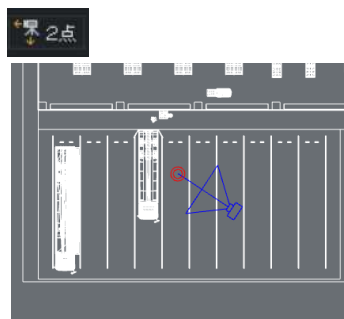
Step 03 屋根の高さを変更する

必要に応じて屋根の高さは「GLからの基準位置の高さ」を屋根の高さ値に変更してOKをクリックします

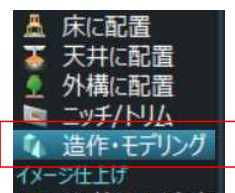


Step 01 立体化での作業

「立体化」ボタンをクリックし、車両の側面が表示されるように視点を取ります

**Step 02** ロゴシールを貼り付ける

ナビの「造作・モデリング」から、パレット最下部にある「ロゴシール」ボタンをクリックします



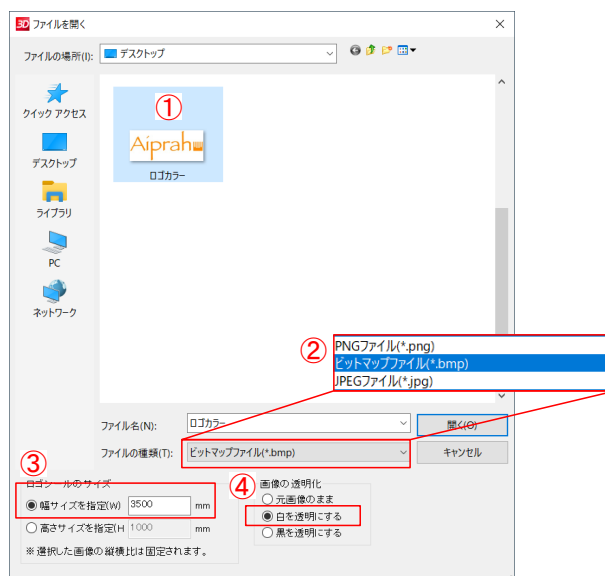
ナビ



パレット

Step 03 ファイル形式や取り込む寸法等を設定

- ①ファイルを選択します
- ②ファイルタイプは3種類対応しています
- ③ロゴのサイズを変更できます
- ④ロゴの背景を指定できます



Step 04 ロゴの配置

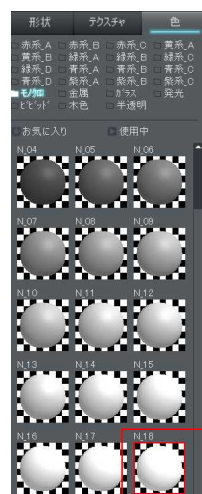
ロゴシールが貼れました。
 バックの色味を変更したい場合は、パレットから
 「色」を選択し付けたい色を選択して、車両の背景に
 あたる部分にマウスでクリックします



Step 05 色の付け方

パレットから「色」タブをクリックし、ここでは「白
 色」を着彩する方法を説明します

「モ/知」をクリックし、最下部にある「N_18」を
 クリックし、そのまま右図のように背景となる面に近
 づく、目的の色に変更されたらマウスをクリックしま
 す

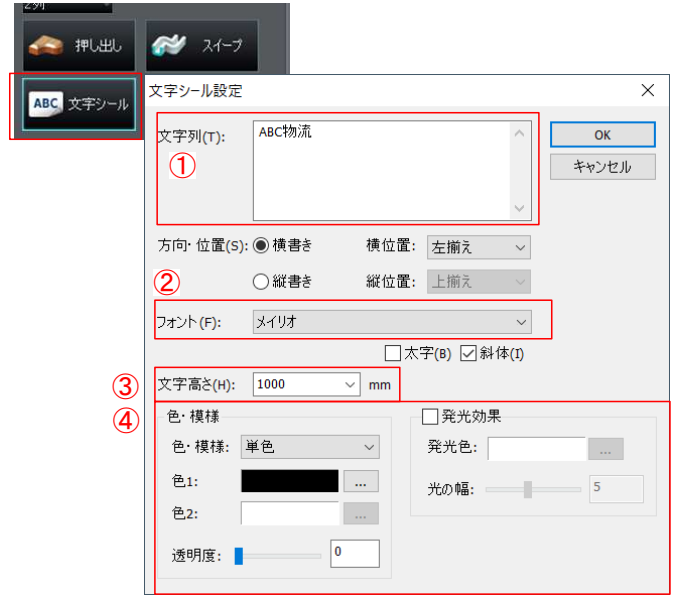


Step 07 文字シールの作成

文字シールのボタンをクリックします
文字シール設定ダイアログボックスが表示されたら、

- ①シールにしたい文字を入力する
- ②フォントを選択する
- ③文字の高さを数値入力する
- ④色や模様、発光効果など必要に応じて設定する

設定が終わったらOKをクリックします



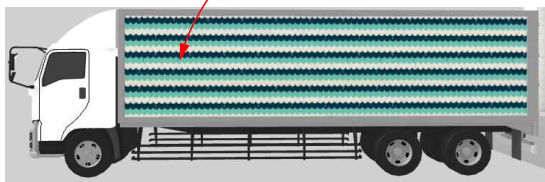
Step 08 文字シールを貼る

車両の貼り付けたい箇所に文字シールを貼ります

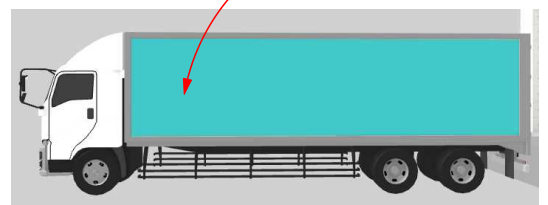


補足

テクスチャと色は、パーツの他にも床、壁、天井など様々な場所に付けることができます



付けたいテクスチャや色を選択して目的のパーツに近づけてクリックするだけです

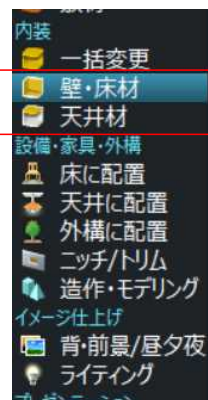


Step 01 事務所スペースの壁材を変更する

事務所スペースにアングルを設定してください。
少し殺風景な空間も、内装材（床材、壁材、天井材）
を変えるだけで、空間の雰囲気を変えることができます

**Step 02** 事務所スペースの壁材を変更する

ナビの「内装」「壁床材」を選択します
パレットは、自動的に壁材が選択されています



ナビ

パレット

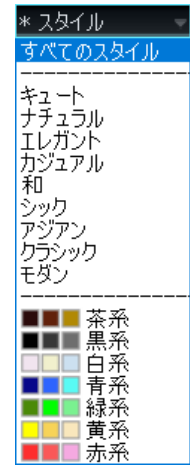
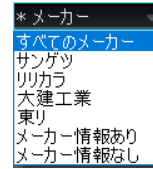
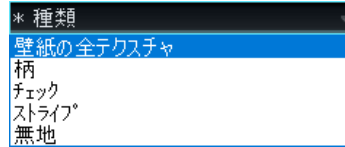
Step 03 壁材の変更

テクスチャを選択して、壁の上でクリックすると、事
務所スペース全面の壁が変更されました。



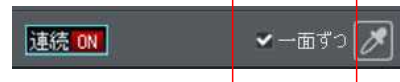
Step 04 条件を絞る

テクスチャは「種類」「メーカー」「スタイル」等により細かく絞って選ぶことができます



Step 05 壁紙を一面ずつ貼る

事務所スペースのある一部分の壁にアクセントを付けたいなど、一面ずつにチェックを入れるとそれが実行できます



Step 01 ウォークスルーとは

空間の中を、人の目線や指定した数値の視点で歩き回ることができる機能です

手順は、歩きたい空間を設定して再生ボタンをクリックするだけです

また、独立したムービーファイルとしてもデータの取り出しが可能ですので、イメージをより伝えやすく、臨場感のあるプレゼンに効果的です



ナビ



パレット

Step 02 準備 ルート設定

ナビの「ウォークスルー」を選択し、パレットの「ルート設定」ボタンをクリックします




Step 03 現在地と目的地の指定

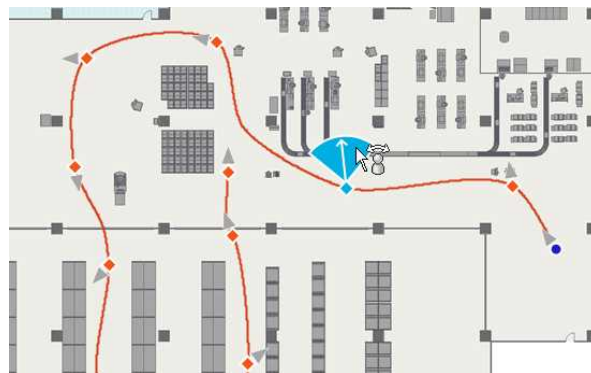
スタートしたい場所からクリックしながら進んでいきます。ルートの設定が終わったらOKをクリックします



Step 04 向きの変更

再びルート設定のボタンをクリックして、オレンジ色の頂点をクリックすると、水色のアイコンに切り替わり、（向きを変更する）アイコンが表示したら、向きたい方向を指定することができます

前進しながら、左右に首を振りながら歩いているさまが表現できます



Step 05 再生とMOVIEファイルへの取り出し

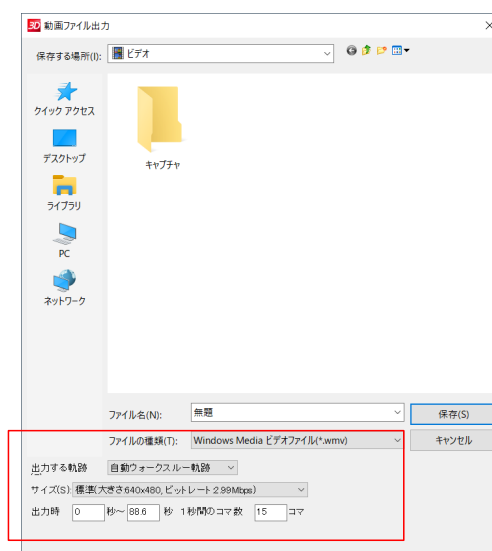
ルート設定をOKしたら、パレットにあるウォークスルーの再生で動画を確認します
目の高さや速度など調整ができます

また、MOVIEファイルへの取り出しは、青いボタンをクリックします



Step 06 動画ファイル出力

取り出しボタンをクリックすると、保存先やファイルの種類、出力する軌跡、サイズ、秒やコマ数など設定することができます



Step 01 データのアップロード

3Dプレイス/イエクラウドにデータをアップロードすると、作成したデータをスマートフォンやタブレットで見ることができますソフトがインストールされているPCを持ち歩かなくても、イメージをその場で伝えることができます



スマートフォンで見る

Step 02 データのアップロード

スマホプレゼン・イエクラウドダイアログボックスが表示されました。

イエクラウドへデータのアップロードする際は、iPhone/iPadで共有・表示するの「始める」ボタンをクリックします



ここを選択

**Step 03** イエクラウドログイン画面

イエクラウドのログイン画面ダイアログボックスが表示されます

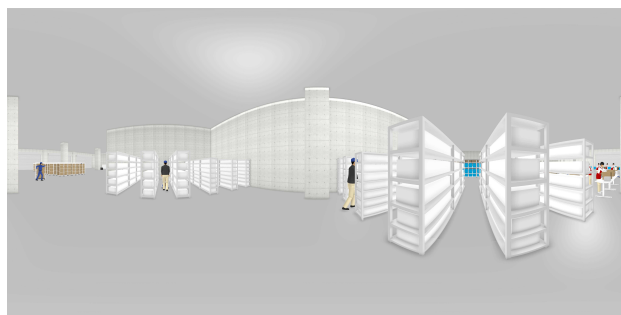
初めて利用する場合は、アカウントを作成します

ログインすると、イエクラウドの使い方が表示し、データ管理画面で管理します



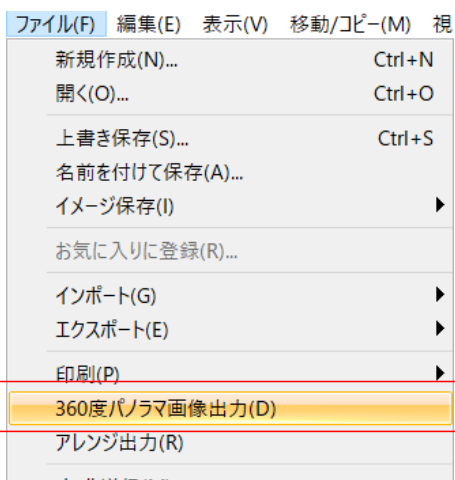
Step 01 パノラマ画像

パース空間の現在の視点や、登録済みの視点から360° 見回すことができるパノラマ画像を自動的に出力します（※静止画）



Step 02 画像出力

ファイルメニューから「360° パノラマ画像出力」を選択します



Step 03 画像出力

出力ボタンをクリックして、保存先を指定すれば完了です

また、出力された360° 画像は、Facebook、LINEに投稿したり、プラグインを入れたホームページ上で閲覧できます

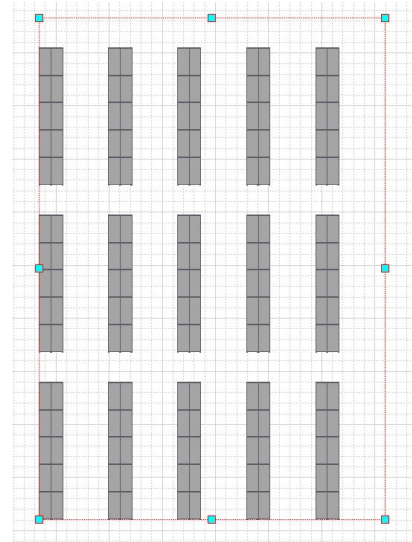


Step 01 島パターン配置機能とは

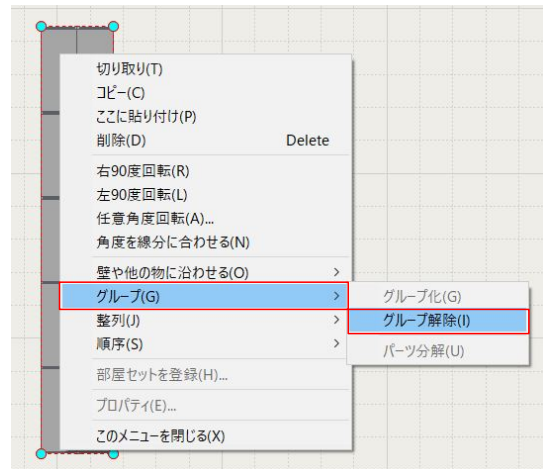
1つの配置パターンを「島パターン配置機能」に登録して、空間の中に登録時に指定した間隔で、どれくらいの配置ができるかなど、シミュレーションする時に便利に使える機能です

【caution】

島パターン配置は「家具・小物」ナビのパレット内に登録されます
使用する際はナビを切り替えてください

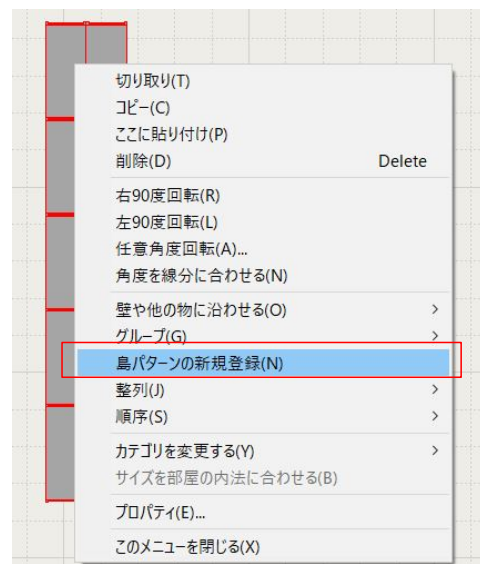
**Step 02** 登録前の確認（グループ解除）

倉庫のパーツ類をグループ化している場合は、右クリックで「グループ」の「解除」を選択してから島パターン配置登録を実行します

**Step 03** 登録

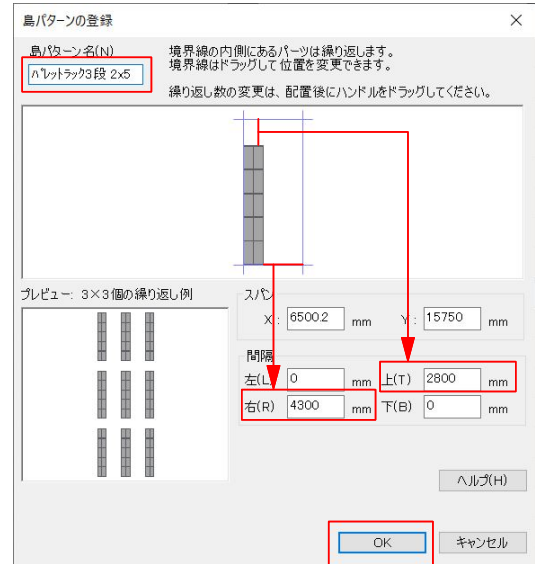
グループ解除直後は、解除したパーツ類が選択された状態なので、そのまま右クリックをします
パーツが選択されていない場合は、登録したいパーツ類を選択してから右クリックをします

「島パターン登録」のコマンドを実行します



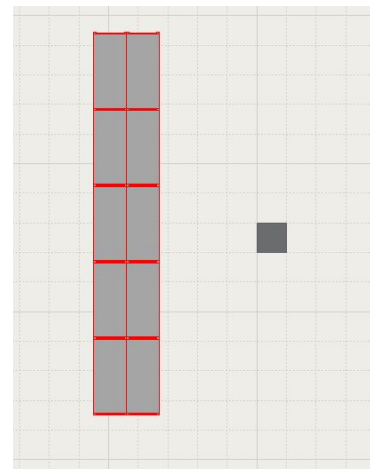
Step 04 島パターンの登録

島パターンに登録する名称や間隔を入力しOKをクリックします



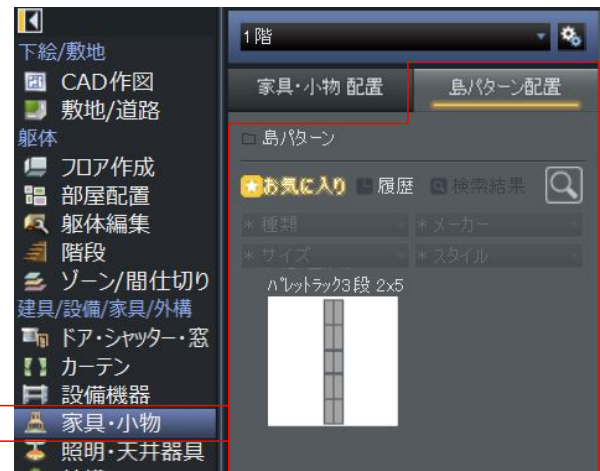
Step 05 登録時に使用したパーツを削除する

登録が終わったら登録前のパーツが残っているので、削除します



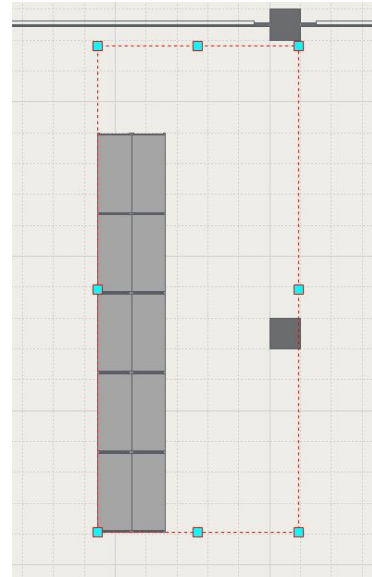
Step 06 島パターンの登録先

登録した島パターンは「家具・小物」ナビのフロアプルダウンにある「島パターン配置」タブの「お気に入り」に登録されます



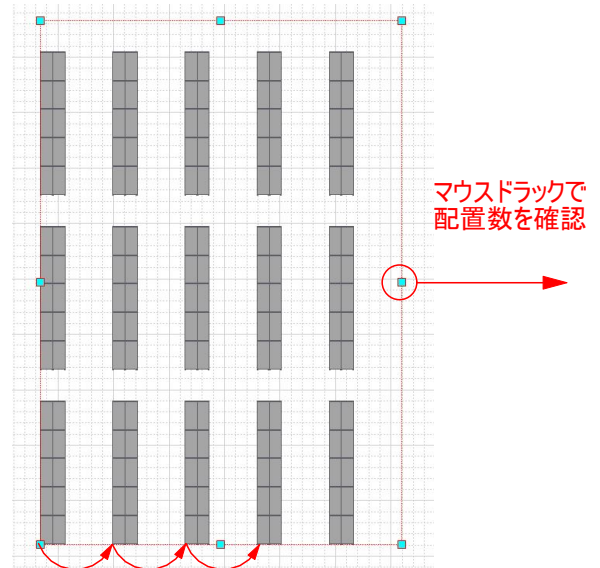
Step 07 島登録の配置

島登録したパーツを配置します

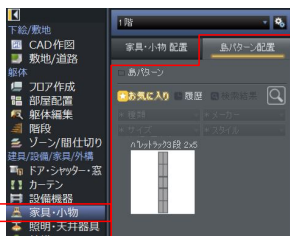


Step 08 配置検証

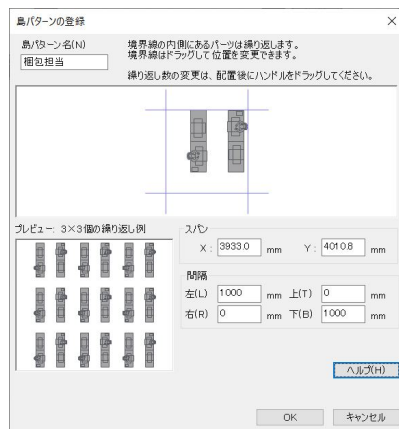
登録した際の間隔でラックの配置が行われます
倉庫内のスペースにどの程度のラックの島が配置可能かなどのシミュレーションができます



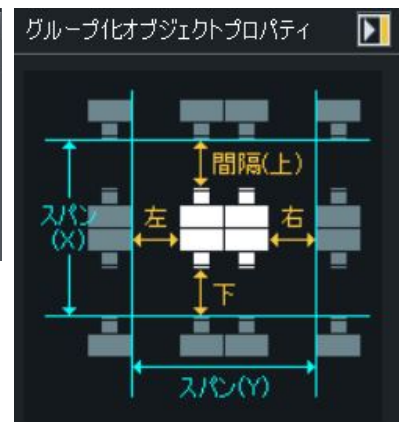
登録した島パターンには、数に制限はありませんので、業務で使用するパターンを登録しておく便利です



島パターンのお気に入り
に登録される



オリジナルの島パターン
がお気に入りリストに
リスト化される



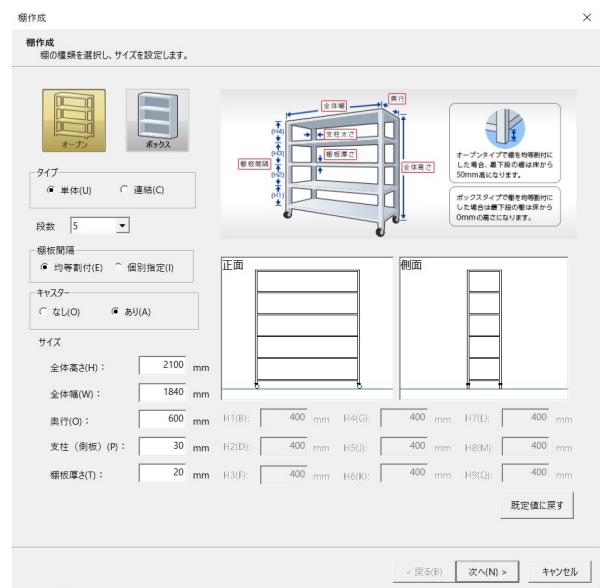
Step 01 オリジナルの棚作成

パーツにない棚は「棚作成」ウィザードを利用して登録することができます



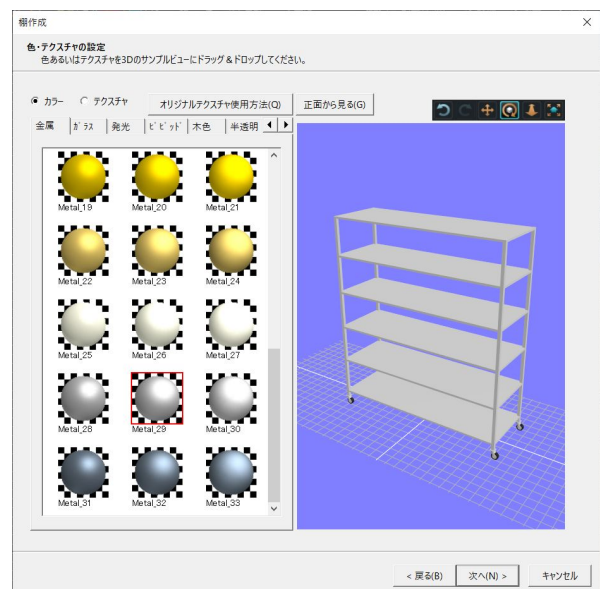
Step 02 棚作成ダイアログ（詳細設定）

オリジナルで作成する情報を入力し「次へ」ボタンをクリックします



Step 03 棚作成ダイアログ（色・テクスチャ）

棚の色・テクスチャを設定します
左側のリストからマウスでドラック&ドロップし「次へ」ボタンをクリックします



Step 04 棚作成ダイアログ（商品情報）

ファイル名を入力し、その他必要な商品情報を入力する場合は情報項目に入力し「保存」ボタンをクリックし完成です

商品情報の入力、棚の保存
棚を保存します。

ファイル名(F): 775段 ※必須(全角6文字/半角12文字以内)

※情報を入力する場合は下記項目に入力してください。

詳細情報

メーカー名(M): 特徴(D):

シリーズ(S):

品名(T): 材質(L):

型番(P): 備考(N):

色(C):

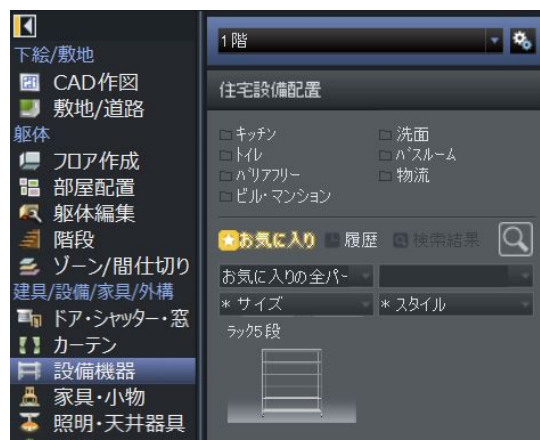
金額(R): 円

※「J」:「J」(全角半角両方)および「-」(全角のみ)は入力できません
 ※「備考」欄には、ここで記入された内容以外にも、サイズやデザインに関する情報の一部が、自動的に書き込まれます。
 ※カタカナは「メーカー名」の項目では全角半角両方、それ以外の項目は半角のみが入力できます。

< 戻る(B) 保存 キャンセル

Step 05 オリジナルラックの確認

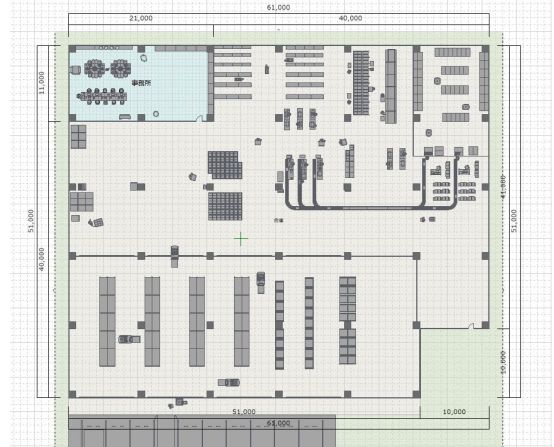
「設備機器」ナビをクリックし、パレット内の「お気に入り」に先程登録したオリジナルのラックが表示します



memo

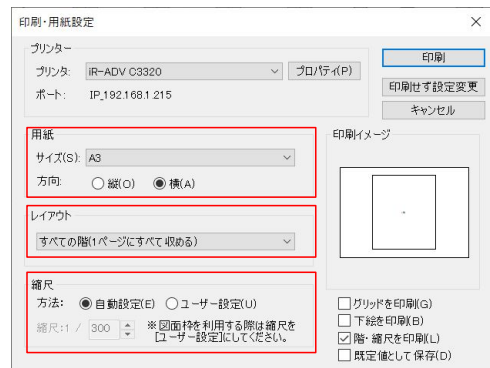
Step 01 間取編集の平面図の出力

間取編集で作成した平面図を出力する場合の操作を紹介しします



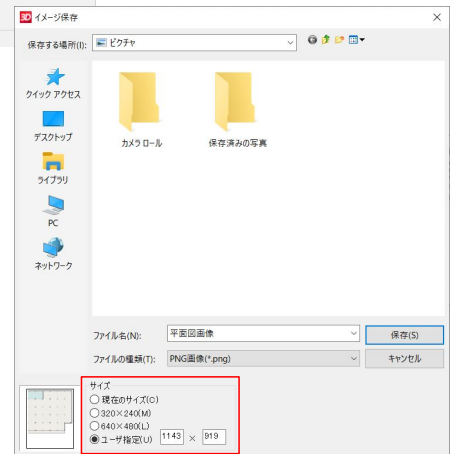
Step 02 間取編集の平面図の出力（印刷）

「ファイル」メニューから「印刷・用紙設定」を選択しします
図面全体が収まるように設定をするには、縮尺を「自動設定」を選択しします



Step 03 間取編集の平面図をイメージ保存

「ファイル」メニューから「イメージ保存」を選択しします
サイズは4種類から選択が可能で、ユーザ指定も行えます



Step 01 パース・レンダリングナビ

「パース・レンダリング」ナビは、パース図の出力が4種類選択できます
印刷、画面ショット、パノラマ、高画質レンダリングです

サイズは現在画面表示しているサイズと同じや、ピクセルで設定が可能です
指定後は「出力」ボタンをクリックします



Step 02 平面・立面図ナビ

「平面図・立面図」ナビは「カラー」「線画」「範囲指定」の3種類が選択でき、出カタイプを「印刷・画像」の他「CADデータ出力」を選択できます



Step 03 平面・立面図ナビ（画像・印刷）

縮尺、出力する図面タイプ、出力先を画像か印刷を選択することができます



物流倉庫3D基本操作マニュアル

2020年07月09日 第一版
2022年02月03日 第二版

著者 Aiprah (アイブラフ)

発行者 メガソフト株式会社

禁転載/不許複製/禁譲渡
